

# 消 防 年 報

2023年度版  
(2024年刊行)



四街道市消防本部

*Yotsukaido Fire Department*

# はじめに

この消防年報は、令和6年4月1日現在における四街道市の消防の現況及び令和5年度中の消防業務に関する事項を統計的に収録し、消防体制の充実と市民の消防・防災に対する期待に応えるため「未来へ繋ぐ 安全・安心の街 四街道」を目指す消防行政の基礎データとして役立てるとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

統計は、原則として暦年をもってあらわし、一部については会計年度としました。

令和6年6月

千葉県四街道市消防本部

# 目 次

## ○概 要 編

四街道市市民憲章	1
総括表（その1）	2
総括表（その2）	3
消防のあゆみ	4
過去の特異火災等	11
四街道市の位置と地勢	13
人口・世帯数の推移	13

## ○総 務 編

組織と機構	14
消防本部事務分掌	15
消防署事務分掌	18
消防庁舎等の状況	20
ホームページ・各所属電話番号等	20
階級別消防職員数	21
階級別消防職員配置状況	21
再任用消防職員配置状況	21
階級・年齢別消防職員構成	22
階級・勤続年数別消防職員構成	23
職員研修状況	24
公務災害発生状況	25
消防職員表彰状況	25
市一般会計予算と消防費予算の比率	26
年度別消防費（当初）節別内訳	27

## ○予 防 編

防火対象物の現況	28
建築同意件数及び内訳	29
消防用設備等届出状況	30
各種届出状況	30
防火管理者選解任届出状況	31
防火対象物点検結果状況及び甲種防火管理者再講習受講状況	31
査察（防火対象物）	32
火災出動件数・火災件数	33
月別火災件数推移	34
火災被害状況推移	34
各地区別火災発生状況	35
原因別火災件数推移	36
時間別火災件数	37
危険物規制	38
危険物施設数推移	38
危険物施設の事務処理状況	38
査察（危険物施設）	39
四街道市危険物安全協会	40
四街道市女性防火クラブ	40

## ○警 防 編

救急業務	41
救急隊員の状況	41
救急資格（要件）別職員数	41
救急隊員が実施した救急処置状況	41
年別救急出動件数	42
年別救急搬送人員	42
月別救急出動件数及び搬送人員	43
年齢別・性別救急搬送人員	44

事故種別・傷病程度別救急搬送人員	45
曜日別救急出動件数	46
時間別救急出動件数	46
各地区別救急出動件数	47
署所別救急出動件数及び搬送人員	48
現場到着所要時間別出動件数	49
病院収容所要時間別搬送人員	49
ドクターヘリ	50
ドクターヘリ出動状況	50
ドクターヘリ離着陸場	50
ラピッドカー	51
ラピッドカー出動状況	51
応急手当の普及啓発活動	52
救命講習の種別	52
救命講習実施状況	52
救助業務	53
救助隊員の状況	53
救助隊員の訓練実施状況	53
救助出動件数	54
要救助者の状況	54
指輪切断件数	54
救助資機材保有状況	55
ロープレスキュー資器材保有状況	56
空気（酸素）呼吸器及び空気（酸素）ボンベ保有状況	57
消防ホース保有状況	57
その他出動件数	58
各種業務出動状況	58
消防車両配置状況	59
消防水利	60
相互応援協定	61

## ○指 令 編

ちば消防共同指令センターの概要	63
消防通信指令施設の現況	64
覚知別受信状況	66
問合せ	66
その他	66
口頭指導状況	67
四街道市消防本部の応受援状況	67

## ○消 防 団 編

消防団各方面隊	68
階級別消防団員数	69
年齢階層・階級別消防団員数	69
分団・在職年数別消防団員数	69
職業別消防団員数	70
消防団管轄区域	70
消防団員年額報酬	71
消防団員出動報酬	71
消防団出動状況	71
消防団員表彰状況	71
消防団詰所の状況	72
消防団車両配置状況	72

## ○出前講座編

生涯学習まちづくり出前講座(消防関係 3 講座)	73
職場体験学習	74
教育実習等受入状況	74

# 概 要 編

## 四 街 道 市 市 民 憲 章

私たちは、みどりと太陽に恵まれた四街道市民です。

おたがいに力をあわせてこの憲章を守り、住みよい豊かな  
のびゆくまちをつくりましょう。

- 1 私たちは道徳を守り、  
文化的なまちをつくりましょう。
- 1 私たちはスポーツを愛し、  
すこやかなまちをつくりましょう。
- 1 私たちはみどりを愛し、  
樹木や花の多いきれいなまちをつくりましょう。
- 1 私たちは老人と子供をいたわり、  
心豊かなまちをつくりましょう。
- 1 私たちは創意と工夫をもって、  
あかるいまちをつくりましょう。



市の木「サクラ」



市の花「サクラソウ」

## 総 括 表 (その1)

区分	年別	令和5年4月1日	令和6年4月1日
面 積 ( k m <sup>2</sup> )		34.52	34.52
国 調 人 口 ( 人 ) ※1		93,576 (R2)	93,576 (R2)
常 住 人 口 ( 人 )		96,185	96,430
世 帯 数		43,466	44,065
消 防 本 部		1	1
消 防 署		1	1
分 署		2	2
消 防 職 員 数 ( 女 性 職 員 )		111 (3)	117 (6)
本 部		23	25 (1)
消 防 署 及 び 分 署 ( 女 性 職 員 )		88 (3)	92 (5)
消 防 職 員 平 均 年 齢 ※2		36.1	35.7
分 団 数		16	16
消 防 団 員 数 ( 女 性 団 員 )		228 (17)	224 (16)
消 防 団 員 平 均 年 齢		45.5	46.8
火 災 件 数 ※3		22	34
建 物 火 災		12	18
損 害 額 ( 千 円 )		95,963	46,959
建 物 焼 損 床 面 積 ( m <sup>2</sup> )		721	822
死 傷 者 数 ( 死 者 )		5 (1)	3 (1)
出 火 率 ( 1 万 人 当 り の 火 災 件 数 )		2.3	3.6
防 火 対 象 物 数		1,678	1,696
5 階 以 上		61	62
危 険 物 施 設 数		103	102
救 急 出 動 件 数 ※3		5,166	5,456
急 病		3,429	3,715
交 通 事 故		329	301
救 助 出 動 件 数 ※3		59	71
要 救 助 者		31	39
消 火 栓	150mm以上	429	429
	150mm未満	469	470
防 火 水 槽	40m <sup>3</sup> 未満	59	59
	40m <sup>3</sup> 以上	335	337
そ の 他 の 消 防 水 利		15	15
<b>計</b>		<b>1,307</b>	<b>1,310</b>

※1 国調人口は、令和2年実施の国勢調査のデータである。

※2 消防職員平均年齢は、再任用職員を除くデータである。

※3 各種出動に関するデータは、1月1日～12月31日までの合計である。

## 総 括 表 (その2)

区分	年別	令和5年4月1日		令和6年4月1日	
		消防本部・署	消防団	消防本部・署	消防団
消 防 ポ ン プ 自 動 車		1	7	1	7
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		4 (1)		4 (1)	
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車		1		1	
は し ご 付 消 防 自 動 車		1		1	
屈折はしご付消防ポンプ自動車		1		1	
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車		1		1	
救 助 工 作 車		1		1	
後 方 支 援 車		1		1	
高 規 格 救 急 自 動 車		5 (1)		5 (1)	
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車			10		10
司 令 車			1		1
司 令 車 ( 多 機 能 車 )			1		1
指 揮 統 制 車		1		1	
査 察 車		1		1	
そ の 他 の 車 両		6		6	
計		23 (2)	19	23 (2)	19

※ ( ) 内は非常用車両を表す。

移 動 局	局	61	2	61	2
	車 載 型	25	2	25	2
	携 帯 型	34		34	
	携 帯 型 [可搬]	1		1	
携 帯 型 [卓上] 2	1		1		
活 動 用 無 線 局	局	63	123	63	123
	携 帯 型	63	45	63	45
	携 帯 型 [可搬]		1		1
	トランシーバー		77		77
受 令 機		3	17	3	17

区分	年度別	令和5年度	令和6年度
消 防 費 ( 当 初 予 算 ) (円)		1,089,254,000	1,266,514,000
市会計全体に占める割合 (%)		3.3	3.5
市 民 1 人 当 り (円)		11,325	13,134
1 世 帯 当 り (円)		25,060	28,742

高 速 道 路 管 轄 距 離 東 関 東 自 動 車 道 ( 上 下 線 方 式 )	四街道-千葉北 (上り)	5.8Km
	四街道-佐倉 (下り)	5.4Km



# 消防のあゆみ

昭和30.	5.	1	旧千代田町消防団、旧旭村消防団及び旧市街地組合消防団（市街地地域の消防団）が統合し、四街道町消防団となる。 編成は、旧旭村消防団を第1支団、旧千代田町消防団を第2支団、旧市街地組合消防団を第3支団とする。 本部位置は、旧市街地組合消防団本部とする。	
	5.	1	団員定数を800名とする。	
	5.	1	初代消防団長に根本貢氏が就任する。	
	11.	1	第2代消防団長に入江元氏が就任する。	
	32.	5.	1	第3代消防団長に神保一美氏が就任する。
	34.	5.	1	第4代消防団長に花島正氏が就任する。
	35.	4.	1	団員定数を446名とする。
	38.	3.	31	支団制を解き分団に統合、16分団制とする。
		8.	5	第5代消防団長に古川良一氏が就任する。
	39.	1.	9	タンク車を購入・配置し「タンク車班」が発足する。（10名編成）
	40.	10.		消防団第4分団詰所が新築落成する。
	41.	10.		消防団第10分団詰所が新築落成する。
		12.	30	消防団第4分団にポンプ自動車を1台購入・配置する。
	42.	3.	10	(財)千葉県消防協会会長「千葉県消防協会表彰旗」受章
		10.	1	「消防団常備部」が発足する。（職員10名採用）
		10.	1	消防団常備部員（職員10名）を千葉市消防本部千葉消防署へ合宿実地研修に派遣する。
		10.		消防団第9分団詰所が新築落成する。
		12.	27	消防団常備部が消防業務を開始する。
		12.	30	消防団常備部にポンプ自動車を1台購入・配置する。
	43.	1.	10	消防団常備部長に副団長山崎清氏が就任する。
		1.	10	消防団常備部に指令室を増築する。（9.72㎡）
		3.	13	千葉県知事「優良表彰旗」受章
		10.		消防団第8分団詰所が新築落成する。
	44.	4.	1	各分団員定数を20名（13分団は、定数15名）とし、「タンク車班」を「常備協力班」と改名し、定数10名とする。
		10.		消防団第16分団詰所が新築落成する。
		11.	1	大日大作岡地区に第17分団を設置し（17分団制）定数15名を以って発足する。
		11.	20	消防団常備部に超短波無線局を開設する。 （周波数152.81MHz、出力5W、基地局1、移動局2）
		12.	1	消防団第2分団にポンプ自動車1台を購入・配置する。
		12.	22	「四街道町草刈条例」を制定する。
	45.	1.	15	消防団常備部に待機室を増築する。（11.57㎡）
		5.	11	消防団常備部に救急車用車庫を増築する。（29.20㎡）
		7.	9	消防団常備部が、大多喜町に災害復旧作業に応援出動する。 （部長以下5名）
		7.	13	消防団第17分団に可搬動力ポンプ1台を配置する。
		7.	25	消防団常備部に風向風速計を購入・配置する。
		12.	1	消防団第5分団詰所が新築落成する。
		12.	3	消防団常備部に携帯無線機2基を購入・配置する。
		12.	10	消防団第3分団にポンプ自動車1台を購入・配置する。
		12.	29	救急車において無線運用を始める。
		12.	30	生命保険協会から救急車の寄贈を受け、消防団常備部に配置する。 消防団常備部が独自の救急業務を開始する。
	46.	3.	12	千葉県知事「優秀表彰旗」受章
		4.	1	消防団常備部を改組し、消防本部及び消防署を設置する。
		4.	1	職員定数を30名（実員22名）とする。
		4.	1	初代消防長に清宮兵之助氏が就任する。 （町長による消防長事務取扱い）

46.	9. 1	第2代消防長に古川良一氏が就任する。
	9. 1	第6代消防団長に長谷川功氏が就任する。
	9. 27	消防署に消防ポンプ自動車及び化学消防ポンプ自動車1台を購入し、配置する。
	10. 25	日本道路公団から救急車の寄贈を受け、消防署に配置する。
	11. 15	新消防庁舎の建設工事に着手する。
	12. 25	消防団第3分団詰所が新築落成する。
47.	2. 18	消防団が(財)日本消防協会会長「団旗竿頭綬」受章
	4. 1	職員定数を40名(実員29名)とする。
	4. 26	消防本部・消防署の合同庁舎が新築落成する。 (位置：四街道町鹿渡熊ヶ谷台934-26)
	4. 26	テレビ監視装置を設置する。
	4. 28	麻生工業(株)から指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
	8. 15	救急業務実施市町村の政令指定を受け、救急業務を開始する。
	8. 23	平和産業(株)から連絡車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
	9. 5	消防本部の指導により「四街道町危険物安全協会」が発足する。
48.	3. 27	消防団第2分団詰所が新築落成する。
	4. 1	消防団本部分団(旧「常備協力班」)を改名し、第18分団として発足する。 (18分団制)
	4. 1	団員定数を354名とする。
	8. 19	第1回消防団操法大会を開催する。 (優勝：ポンプ自動車の部・第2分団、小型ポンプの部・第15分団)
	12. 20	消防団第1分団・第11分団詰所が新築落成する。
	12. 27	消防署にはしご付消防ポンプ自動車(18m級)1台を購入し、配置する。
49.	8. 9	消防署に自家用給油取扱所を設置する。
	10. 1	地震対策用40m <sup>3</sup> 級防火水槽の設置事業に着手する。
	10. 15	消防団第15分団詰所が新築落成する。
50.	9. 1	第7代消防団長に勝山衛氏が就任する。
	10. 1	消防団第17分団詰所が新築落成する。
51.	1. 16	千葉県共済農業協同組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置する。
	7. 31	消防団全分団に無線受信機の設置を完了する。
	10. 20	消防団第6分団詰所が新築落成する。
52.	3. 3	消防団が(財)日本消防協会会長「表彰旗」受章
	9. 1	第1回四街道町総合防災訓練(於県立四街道高等学校)に参加する。
	10. 7	消防団全分団への小型動力ポンプ専用積載車の整備を開始する。
	10. 15	消防団第12分団詰所が新築落成する
	11. 29	消防団第7分団詰所が新築落成する。
	12. 1	消防本部機構を庶務課及び消防課の2課体制に、消防署機構を1署1分署体制にそれぞれ強化する。
	12. 1	職員定数を75名(実員66名)とする。
	12. 1	千代田分署に職員21名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台及び連絡車1台を配置し、業務を開始する。
	12. 10	消防団第14分団詰所が新築落成する。
	12. 28	四街道ライオンズクラブから赤バイ1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
53.	2. 10	日本自動車工業会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
	9. 3	消防団第13分団詰所が新築落成する。
	10. 9	消防署千代田分署に自家用給油取扱所を設置する。
	12. 8	消防団第18分団詰所が新築落成する。
54.	3. 30	消防本部に消防救急一斉指令装置及び総合自動気象観測装置を設置する。
55.	3. 5	消防庁長官「竿頭綬」受章
55.	7. 1	消防本部の指導により、「四街道町防火指導員」が44名で発足する。

7.	1	消防本部機構を3課1室9係体制に改正強化する。 庶務課（庶務係、企画広報係、経理係） 予防課（指導係、調査係、危険物係） 警防課（警防係、機械係） 指令室（指令係）
9.	30	消防団全分団への小型動力ポンプ専用積載車の整備を完了する。
9.	30	新東京国際空港公団から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
10.	1	職員定数を90名（実員69名）とする。
56.	4. 1	市制施行に伴い、「四街道町消防本部」を「四街道市消防本部」に、「四街道町消防団」を「四街道市消防団」にそれぞれ名称変更する。
9.	25	日本消防協会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け、消防署に配置する。
11.	30	消防署旭分署に自家用給油取扱所を設置する。
12.	2	消防署機構を1署2分署体制に改正強化する。
12.	2	職員定数を92名（実員92名）とする。
12.	2	旭分署に職員21名、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急車（2B型）1台及び連絡車1台を配置し、業務を開始する。
57.	8. 3	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（10m <sup>3</sup> ）1台を購入し、配置する。
58.	5. 2	四街道ロータリークラブから原付バイク2台の寄贈を受け、千代田分署及び旭分署に配置する。
59.	12. 21	職員定数を95名（実員91名）とする。
60.	2. 28	消防署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を購入し、配置する。
5.	22	第7回千葉県消防音楽隊フェスティバルが当市文化センターで開催される。
9.	1	第1回四街道市総合防災訓練（於四街道小学校）に参加する。
9.	2	「四街道市消防音楽隊」が隊員数23名（兼務）で発足する。
10.	1	消防本部機構を4課11係体制に改正強化する。 総務課（庶務係、企画広報係、経理係） 予防課（指導係、調査係、危険物係） 警防課（指導係、警防係、機械係） 指令課（通信管理係、情報係）
12.	2	消防署に電源照明付救助工作車（Ⅱ型）1台及び救急車（2B型）1台を購入し、配置する。
61.	4. 1	第3代消防長に鈴木均氏が就任する。
5.	1	「四街道市消防の歌」を制定する。
9.	1	第7回六都県市合同防災訓練が、千葉県メイン会場として県立四街道高等学校で実施される。
9.	9	消防署の自家用給油取扱所を改修設置する。
10.	28	四街道市婦人消防隊（セイコー光機）が第2回全国婦人消防操法大会に出場する。
62.	1. 12	消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、配置する。
8.	13	日本消防協会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け、千代田分署に配置する。
11.	4	千代田分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
63.	3. 23	消防本部・消防署合同庁舎に自家発電設備（30KVA）を設置する。
4.	1	職員定数を100名（実員99名）とする。
4.	1	第8代消防団長に岡本唯三氏が就任する。
平成元.	1. 24	千代田分署に自家発電設備（20KVA）を設置する。
9.	18	旭分署に救急車（2B型）1台を購入し、更新配置する。
12.	5	旭分署に自家発電設備（20KVA）を設置する。
12.	12	消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
3.	2. 5	消防団全分団に車載型無線受令機の整備を完了する。
4.	1	職員定数を106名（実員102名）とする。
10.	12	消防署に救急車（2B型）1台を購入し、更新配置する。

3. 12. 16	消防本部・消防署合同庁舎に変電設備（80KVA）を設置する。
4. 3. 6	消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
7. 16	鷹の台3丁目15番2号に消防用地（1,500.06㎡）を確保する。
5. 1. 18	旭分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
4. 1	職員定数を112名（実員109名）とする。
4. 1	「四街道市特別救助隊」が隊員数6名（兼務）で発足する。
11. 24	旭分署に消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）1台を購入し、更新配置する。
6. 1. 10	旭分署に屈折はしご車（15m級）1台を購入し、更新配置する。
4. 1	第4代消防長に齋藤孝一氏が就任する。
4. 1	第9代消防団長に深澤健作氏が就任する。
4. 1	「四街道市消防資料館」を開設する。
11. 2	当市初の「救急救命士」が誕生する。
7. 4. 1	消防署に初の高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
4. 1	救急救命士による救急業務を開始する。
8. 4. 1	第5代消防長に伊藤晃氏が就任する。
4. 1	消防本部機構を4課12係制に、消防署（分署を除く）の機構を8係制にそれぞれ改正し、救急体制を強化する。（消防本部警防課警防係から救急関係事務を分離独立させて救急係を、消防署警防第1・2係から救急関係事務を分離独立させて救急第1・2係をそれぞれ設置する。）
	総務課（庶務係、企画広報係、経理係）
	予防課（指導係、調査係、危険物係）
	警防課（指導係、警防係、救急係、機械係）
	指令課（指令第1係、指令第2係）
	消防署
	（庶務第1係、予防第1係、警防第1係、救急第1係）
	（庶務第2係、予防第2係、警防第2係、救急第2係）
10. 1	消防組織法改正により、「四街道市消防職員委員会」を設置する。
11. 28	千代田分署及び旭分署に現場指揮車各1台を購入し、配置する。
12. 4	消防署に運搬車1台を購入し、更新配置する。
12. 16	消防本部警防課に人員輸送車1台を購入・配置（旭分署）する。
12. 24	和良比635番地の1に消防用地（4,622.74㎡）を確保する。
9. 1. 21	消防本部警防課に現場指揮統制車1台を購入し、配置する。
3. 14	消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、更新配置する。
7. 25	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台の寄贈を受け、消防団第13分団に更新配置する。
9. 29	消防本部総務課及び警防課に指令広報車各1台を購入し、更新配置する。
10. 13	四街道ライオンズクラブから液晶ビデオ映写機一式の寄贈を受け、消防本部総務課に配置する。
10. 2. 18	第39回千葉県消防職員意見発表会が当市文化センターで開催される。
11. 2. 17	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
3. 26	日本消防協会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け、旭分署に更新配置する。
4. 1	消防本部指令課に消防緊急通信指令施設を更新設置する。
4. 1	消防本部警防課の機構を改正し、救助体制及び消防団事務執行体制を強化する。（指導係を廃止し救急係を救急救助係に改め、消防団係を新設する。）
	警防課（警防係、救急救助係、機械係、消防団係）
12. 2. 16	千代田分署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
3. 8	消防庁長官「表彰旗」受章
4. 1	第6代消防長に大野宇一氏が就任する。
4. 1	第10代消防団長に大川武博氏が就任する。
9. 17	第22回千葉県消防音楽隊フェスティバルが当市文化センターで開催される。
13. 2. 20	和良比消防用地の隣接地（869.78㎡）を取得（登記）し消防用地を拡張する。（総面積5,492.52㎡）

3. 22	和良比消防用地の隣接地（246.74㎡）を都市部土木課から引継ぐ。 （総面積5,739.26㎡）
3. 12	消防署に救助工作車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
13. 4. 1	第11代消防団長に眞道信雄氏が就任する。
14. 3. 8	消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、更新配置する。
3. 19	（社）日本損害保険協会から高規格救急自動車1台の寄贈を受け、旭分署に更新配置する。
15. 3. 26	千代田分署に小型動力ポンプ付水槽車（5㎡）1台を購入し、更新配置する。
4. 1	第7代消防長に中臺茂樹氏が就任する。
4. 1	消防本部総務課の機構を改正し（庶務係を総務係に改め）、消防署（分署を含む）の機構を係制から班制に改正強化する。 総務課（総務係、企画広報係、経理係） 消防署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班、救急第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班、救急第2班） 千代田分署及び旭分署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班）
16. 2. 26	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
3. 26	消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
17. 1. 21	消防署にはしご付消防自動車（30m級）1台を購入し、更新配置する。
4. 1	第8代消防長に小林昭五氏が就任する。
4. 1	緊急消防援助隊に消火部隊（1隊）を登録する。
4. 1	当市初の女性消防団員（4名）を任命する。
10. 20	航空機事故消火救難総合訓練（第24回：成田市）に初参加する。
11. 10	携帯電話からの119番通報直接受信を開始する。
18. 2. 9	日本消防協会から司令車1台の寄贈を受け、配置（消防団本部）する。
3. 27	消防本部警防課に後方支援車1台を購入し、配置（旭分署）する。
3. 30	旭分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
4. 1	緊急消防援助隊に後方支援隊（1隊）を登録する。
9. 3	第27回八都県市合同防災訓練が、千葉県メイン会場として県立四街道高等学校で実施される。
11. 6	旭分署に消防ポンプ自動車（CD-I型）1台を購入し、更新配置する。
12. 22	消防本部警防課に指揮支援車1台を購入し、更新配置する。
19. 2. 3	千葉県消防広域応援隊合同訓練（第1回：千葉県消防学校）に参加する。
～ 2. 4	
2. 28	消防本部予防課に原因調査車1台を購入し、更新配置する。
4. 1	市の組織・機構の再編に伴い、消防本部指令課を消防署に統合して消防本部機構を3課とし、消防本部についてはグループ制を採る。 総務課（総務グループ、企画管理グループ） 予防課（予防グループ、調査グループ） 警防課（警防グループ、救急救助グループ） 消防署 （指令第1班、総務第1班、予防第1班、警防第1班、救急第1班） （指令第2班、総務第2班、予防第2班、警防第2班、救急第2班） 千代田分署及び旭分署 （総務第1班、予防第1班、警防第1班） （総務第2班、予防第2班、警防第2班）
10. 19	消防本部警防課に指令広報車1台を購入し、更新配置する。
10. 20	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（群馬県前橋市）に初参加する。
～ 10. 21	

11.	5	東関東自動車道及び新空港自動車道消防協議会合同訓練（第1回：市原市）に参加する。
20.	6. 29	四街道市消防団（第2分団）が第28回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて優勝する。
	7. 26	四街道市消防団（第2分団）が第44回千葉県消防操法大会に出場する。
	9. 9	四街道市消防本部が「千葉県救急医療功労者表彰」を受章
21.	3. 27	旭分署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m級）1台を購入し、更新配置する。
	4. 1	第9代消防長に川村雅敏氏が就任する。
	5. 1	第12代消防団長に塚本正英氏が就任する。
	12. 28	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
22.	2. 13	消防団第11分団詰所を鹿渡698 - 36へ移転する。
	3. 9	消防署に消防緊急通信指令施設を更新設置する。
23.	2. 10	旭分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	3. 20	東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊千葉県隊として、消火隊・後方支援隊として出動する。（岩手県陸前高田市）
	～3. 22	
	4. 1	第10代消防長に能城俊一氏が就任する。
24.	2. 20	消防本部総務課に指令車1台を購入し、更新配置する。
	3. 30	千代田分署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
	3. 31	「四街道市消防資料館」を閉館する。
	4. 1	消防署に指揮隊を発足させる。
	4. 1	消防本部予防課（調査グループを査察指導グループに改め）及び消防署（班制からグループ制に改め）の機構を改正強化する。 予防課（予防グループ、査察指導グループ） 消防署 （指揮指令1グループ、総務1グループ、予防1グループ、警防1グループ、救急1グループ） （指揮指令2グループ、総務2グループ、予防2グループ、警防2グループ、救急2グループ） 千代田分署及び旭分署 （総務1グループ、予防1グループ、警防1グループ） （総務2グループ、予防2グループ、警防2グループ）
25.	3. 28	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	3. 31	四街道市消防音楽隊を廃止する。
	4. 1	県内北東部、南部の20消防本部の指令業務を共同化し千葉市消防局7階に「ちば消防共同指令センター」を設置し、消防救急無線をデジタル波に切替え、運用を開始する。
	12. 21	消防団第15分団詰所を亀崎245-1へ移転する。
26.	1. 15	消防本部総務課に広報車1台を購入し、更新配置する。
	1. 23	千代田分署に広報車1台を購入し、更新配置する。
27.	3. 25	消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-B型）1台を購入し、更新配置する。
	4. 1	第11代消防長に橋本政美氏が就任する。
	4. 1	団員定数を300名とする。
28.	3. 18	千代田分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	4. 1	第12代消防長に飯田和進氏が就任する。
	10. 19	旭分署に広報車1台を購入し、更新配置する。
29.	4. 1	第13代消防長に林田茂樹氏が就任する。
	8. 23	全国消防救助技術大会において、2種目入賞する。
	11. 18	総務省消防庁から多機能車1台の貸与を受け、消防団本部に配置する。
30.	3. 31	消防団第13分団を廃止する。
	4. 1	第14代消防長に西岡 亨氏が就任する。

4.	1	市の組織機構改革に伴い、消防本部・署について、グループ制を廃し係制を採る。 消防署警防1・2グループから救助関係事務を分離独立させて、救助1・2係を新たに設置し、組織体制の強化を図る。 総務課（総務係、企画管理係） 予防課（予防係、査察指導係） 警防課（警防係、救急救助係） 消防署 （指揮指令1係、総務1係、予防1係、警防1係、救助1係、救急1係） （指揮指令2係、総務2係、予防2係、警防2係、救助2係、救急2係） 千代田分署及び旭分署 （総務1係、予防1係、警防1係） （総務2係、予防2係、警防2係）	
	7.	1	四街道市消防団（第2分団）が第38回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて優勝する。
	8.	4	四街道市消防団（第2分団）が第54回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優良賞（第3位）を獲得する。
31.	3.	26	消防本部・消防署合同庁舎に女性専用施設を設置する。
令和2.	4.	1	第15代消防長に齊藤信行氏が就任する。
	7.	19	消防団第2分団詰所を四街道3丁目8-1へ移転する。
3.	3.	31	消防団第11分団を廃止する。
	4.	1	第13代消防団長に河田政実氏が就任する。
	9.	17	旭分署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	12.	1	四街道市消防本部50周年記念誌を刊行する。
	12.	27	消防署に救助工作車（Ⅱ型）1台を購入し、更新配置する。
4.	7.	3	四街道市消防団（第2分団）が第42回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて準優勝する。
	7.	30	四街道市消防団（第2分団）が第58回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優秀賞（2位）を獲得する。
5.	1.	19	日本消防協会から司令車1台の寄贈を受け、消防団本部に更新配置する。
	3.	6	消防署に高規格救急自動車1台を購入し、更新配置する。
	4.	1	第16代消防長に粟飯原阿良太氏が就任する。
	4.	1	職員定数を123名（実員111名）とする。
5.	7.	2	四街道市消防団（第2分団）が第43回印旛支部消防操法大会ポンプ車の部にて準優勝する。
	7.	22	四街道市消防団（第2分団）が第59回千葉県消防操法大会に出場し、ポンプ車の部にて優良賞（3位）を獲得する。
6.	3.	31	四街道市防火指導員を廃止する。
4.	1		四街道市女性防火クラブが、24名で発足する。

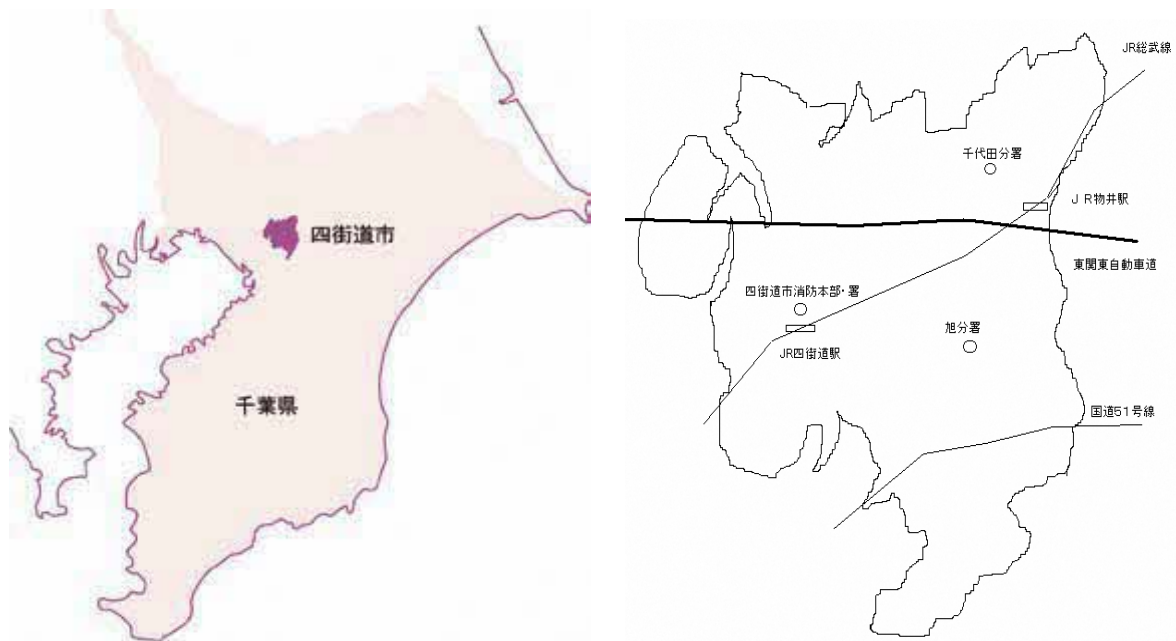
## 過去の特異火災等

- 昭和26. 5. 25 鹿渡地区 建物火災 全焼3棟 出動団員370名  
 焼失面積 約417m<sup>2</sup> 損害額1,000,000円 (深夜の住宅火災)
26. 6. 16 鹿渡地区 建物火災 全焼3棟 出動団員480名  
 焼失面積 約318m<sup>2</sup> 損害額6,000,000円 (深夜の倉庫火災)
40. 6. 16 鹿渡地区 建物火災 全焼1棟、半焼2棟  
 焼失面積 約3,762m<sup>2</sup> (深夜の共同住宅延焼火災)
44. 3. 12 四街道地区 建物火災 全焼2棟 焼失面積 約395m<sup>2</sup>  
 損害額9,500,000円 (強風時の住宅延焼火災)
47. 5. 7 物井地区 建物火災 全焼3棟、部分焼1棟 焼失面積 約151m<sup>2</sup>  
 損害額880,000円 (作業場から住宅へ延焼火災)
47. 5. 22 鹿放ヶ丘地区 建物火災 全焼1棟  
 焼失面積 約94m<sup>2</sup> (落雷により発生した火災)
48. 12. 10 小名木地区 建物火災 全焼3棟 焼失面積 約876m<sup>2</sup>  
 損害額12,704,000円 (化学工場火災)
58. 6. 7 山梨地区 建物火災 全焼1棟、半焼1棟 死者2名、負傷者1名  
 損害額2,758,000円 (時限発火装置による火災)
59. 3. 7 和田地区及び栗山地区 建物火災  
 和田地区 全焼1棟 焼失面積 約219m<sup>2</sup> 損害額16,547,000円  
 栗山地区 全焼1棟 焼失面積 約72m<sup>2</sup> 損害額11,361,000円 死者1名  
 (同時多発火災)
59. 8. 5 大日地区 建物火災 全焼3棟、半焼5棟、部分焼2棟  
 焼失面積 約502m<sup>2</sup> (LPガスによる爆発火災)
61. 7. 10 東関東自動車道 車両火災 車両2台全焼 死者4名、負傷者2名  
 損害額1,568,000円 (移動タンク貯蔵所の炎上)
63. 2. 16 四街道地区 建物火災 全焼2棟、部分焼2棟、死者3名、負傷者2名  
 焼失面積 約302m<sup>2</sup> (深夜の共同住宅火災)
- 平成10. 4. 11 和良比地区 建物火災 全焼3棟、部分焼4棟 焼失面積 約316m<sup>2</sup>  
 損害額32,369,000円 (住宅密集地での住宅延焼火災)
10. 11. 15 大日地区 建物火災 全焼2棟、半焼2棟、部分焼4棟  
 焼失面積 約255m<sup>2</sup> 損害額42,569,000円 (住宅密集地での住宅延焼火災)
13. 5. 5 山梨地区 建物火災 全焼1棟、部分焼5棟、死者11名  
 焼失面積 約1,000m<sup>2</sup> 損害額16,325,000円 (深夜の作業員寄宿舎火災)
14. 8. 24 鹿放ヶ丘地区 その他の火災 出動隊員 (消防職員67名、消防団員90名)  
 損害額8,386,000円 (古タイヤ約5,000本が焼失)
16. 3. 17 大日今宿地区 その他の火災 出動隊員 (消防職員41名、消防団員38名)  
 産業廃棄物 (木材等) 2,000m<sup>3</sup>焼失 (強風下の大規模産業廃棄物火災)
20. 2. 14 大日萱橋台地区 建物火災 出動隊員 (消防職員34名、消防団員32名)  
 焼損面積865m<sup>2</sup> 損害額262,449,000円 (深夜の大規模工場火災)
23. 3. 11 東日本大震災 ～東北地方太平洋沖地震～  
 発生時刻 14時46分 最大震度 7 (宮城県栗原市)  
 (四街道市の震度5弱)
26. 8. 11 吉岡地区 建物火災 出動隊員 (消防職員42名、消防団員46名)  
 焼損面積109.09m<sup>2</sup> 損害額1,286,000円 (古民家住宅火災)



- 平成30. 1. 2 大日地区 その他の火災 出動隊員（消防職員54名、消防団員47名）  
廃材等2,477m<sup>2</sup>焼損 損害額3,385,000円  
**（鎮火に長時間を要した産業廃棄物火災）**
- 30.12.31 小名木地区 建物火災 全焼1棟 部分焼1棟 死者3名 負傷者3名  
焼損面積101.43m<sup>2</sup> 損害額 25,865,000円 **（年末における住宅火災）**
- 令和元. 9. 9 台風15号（令和元年房総半島台風）  
出動隊員（消防職員延べ180名、消防団員延べ65名）  
市内出動件数 55件 **（千葉県内に大きな被害をもたらした台風）**
- 元.10.12 台風19号（令和元年東日本台風）  
出動隊員（消防職員延べ36名、消防団員延べ337名）  
市内出動件数 70件（広報等を含む。）  
**（四街道市において、消防職・団員に全員招集を行った初めての災害）**

## 四街道市の位置と地勢



四街道市は千葉県の北西部に位置し、県都千葉市へ8キロメートル、都心へ40キロメートルの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が縦断し、千葉市、佐倉市に隣接しています。

市域は東西約7キロメートル、南北約9キロメートル、面積は、34.52平方キロメートルです。

昭和30年（1955年）3月、千代田町と旭村が合併し四街道町が誕生。当時の人口は18,014人（国勢調査）でした。昭和40年代前半から旭ヶ丘グリーンタウン、千代田団地、みそら団地などの大型団地が誕生し、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加するとともに、自然と都市機能が調和したまちとして成長してきました。昭和56年（1981年）4月、市制が施行され新たな歩みを始めました。

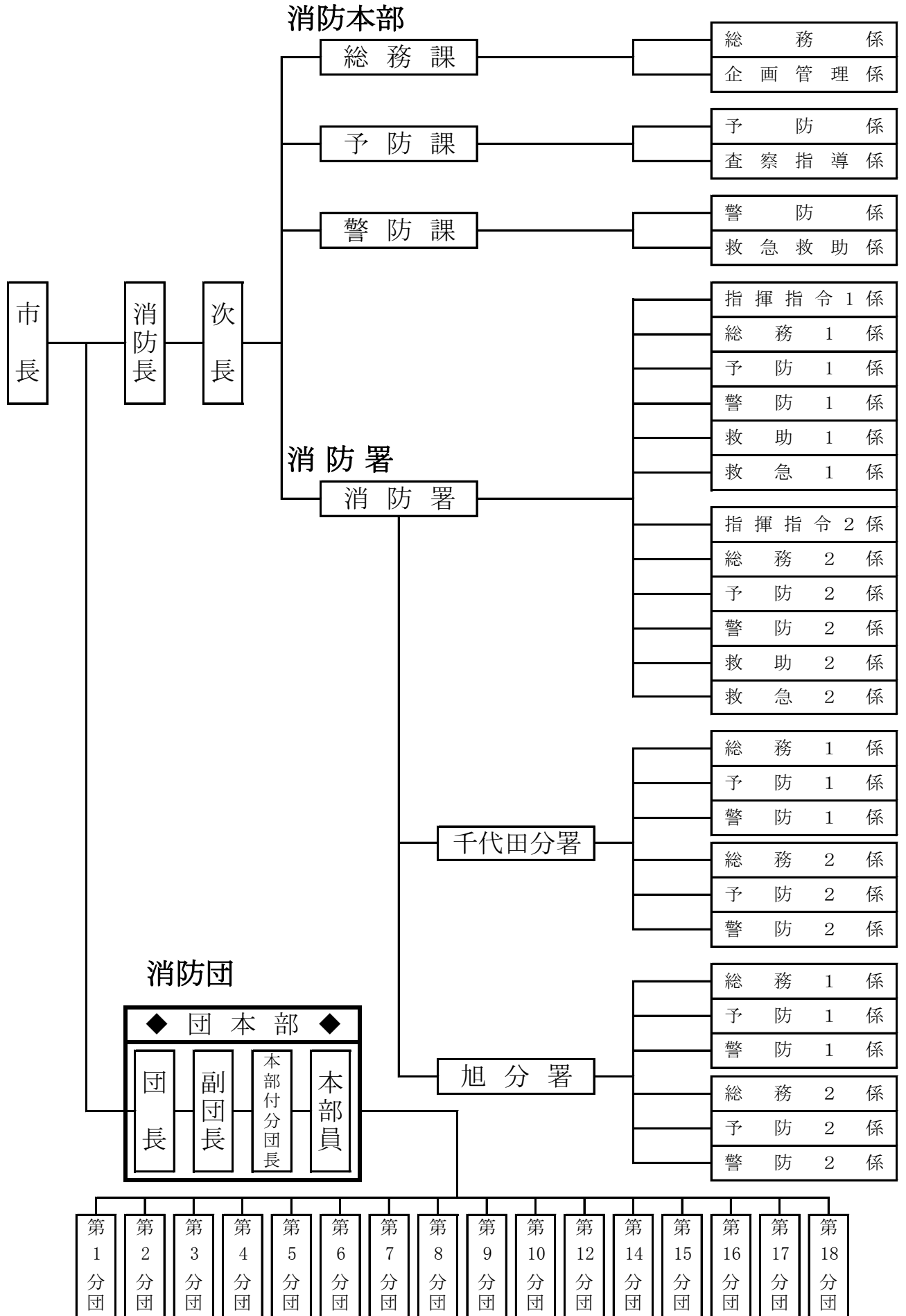
## 人口・世帯数の推移

（各年4月1日現在）

年別	区分	世帯数	人 口			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
			男	女	計	
令和 2年		41,744	47,438	47,427	94,865	2,748
令和 3年		42,486	47,775	47,726	95,501	2,767
令和 4年		43,007	47,957	48,026	95,983	2,781
令和 5年		43,466	48,120	48,065	96,185	2,786
令和 6年		44,065	48,288	48,142	96,430	2,793

# 総務編

# 【組織と機構】



# 消防本部事務分掌

## 総務課

### (総務係)

- (1) 消防本部の庶務に関する事。
- (2) 課の庶務に関する事。
- (3) 消防本部の総合調整に関する事。
- (4) 儀式及び消防表彰に関する事。
- (5) 公印に関する事。
- (6) 文書及び例規に関する事。
- (7) 職員の階級、任免、分限、懲戒、服務その他人事に関する事。
- (8) 職員の人事評価に関する事。
- (9) 職員の研修、派遣及び教養に関する事。
- (10) 職員の公務災害に関する事。
- (11) 職員の衛生及び安全管理に関する事。
- (12) 職員の福利厚生に関する事。
- (13) 消防職員委員会に関する事。
- (14) 消防団員の任免、服務その他身分に関する事。
- (15) 消防団員の報酬等の支給に関する事。
- (16) 消防団員の被服等の貸与に関する事。
- (17) 消防団員の公務災害に関する事。
- (18) 消防団員の教養訓練及び安全管理に関する事。
- (19) 消防団の施設及び機器(消防車両を除く。)の管理に関する事。
- (20) その他消防団に関する事。
- (21) その他他課の所掌に属さない事項に関する事。

### (企画管理係)

- (1) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する事。
- (2) 消防本部の情報化の推進に関する事。
- (3) 消防本部の会議に関する事。
- (4) 消防情報及び沿革記録保存等に関する事。
- (5) 消防長の秘書事務に関する事。
- (6) 消防長会その他関係諸機関との渉外連絡調整に関する事。
- (7) 消防報道及び報道機関との連絡に関する事。
- (8) 消防広報に関する事。
- (9) 組織、制度及び基本施策の企画調整に関する事。
- (10) 職員の被服等貸与品の支給に関する事。
- (11) 職員の給料、諸手当及び旅費の支給に関する事。
- (12) 財産の管理の総括に関する事。
- (13) 消防庁舎の管理に関する事。

## 予 防 課

### ( 予 防 係 )

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 建築許可等の同意に関する事。
- (3) 消防用設備等の設置の指導及び検査に関する事。
- (4) 防火管理に関する事。
- (5) 防火思想の普及に関する事。
- (6) 防火指導員に関する事。
- (7) 危険物施設の許可、認可及び承認に関する事。
- (8) 危険物施設の届出等に関する事。
- (9) 危険物施設の検査に関する事。
- (10) 液化石油ガス、高圧ガスに関する事。
- (11) 成田国際空港パイプライン消防防災連絡会に関する事。
- (12) 火災予防条例による届出等に関する事。
- (13) その他火災予防の指導に関する事。

### ( 査 察 指 導 係 )

- (1) 立入検査に関する事。
- (2) 違反処理に関する事。
- (3) 防火対象物点検報告に関する事。
- (4) 火災の原因及び損害調査に関する事。
- (5) 火災統計及び報告に関する事。
- (6) 防火対象物の統計及び報告に関する事。
- (7) 危険物施設の統計及び報告に関する事。
- (8) り災証明に関する事。
- (9) 予防相談に関する事。
- (10) 危険物安全協会に関する事。
- (11) 危険物取扱者の講習及び試験に関する事。
- (12) その他火災の調査に関する事。

## 警防課

### ( 警防係 )

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 消防計画の樹立及び修正に関する事。
- (3) 国民保護に関する事。
- (4) 防災知識の普及に関する事。
- (5) 水火災、地震等の警戒及び防ぎよに関する事。
- (6) 消防地理水利に関する事。
- (7) 緊急消防援助隊に関する事。
- (8) 消防相互応援協定に関する事。
- (9) 開発行為等の消防協議に関する事。
- (10) 千葉県高速自動車国道等消防協議会に関する事。
- (11) 成田国際空港消防連絡協議会に関する事。
- (12) 消防教養訓練に関する事。
- (13) 消防機器の整備保全に関する事。
- (14) 消防機器の研究及び改善に関する事。
- (15) 消防機器の操作技術の研究及び指導に関する事。
- (16) 消防機器の整備技術の指導に関する事。
- (17) 機関員の養成に関する事。
- (18) 消防燃料の管理に関する事。
- (19) その他消防機器に関する事。

### ( 救急救助係 )

- (1) 救急救助計画の作成及び指導に関する事。
- (2) 救急救助の統計及び報告に関する事。
- (3) 救急救助技術の指導及び研究に関する事。
- (4) 救急救助資機材の整備保全及び研究開発に関する事。
- (5) 救急医療機関等との連絡調整に関する事。
- (6) 印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会に関する事。
- (7) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (8) 救急搬送証明に関する事。
- (9) その他救急救助に関する事。

# 消防署事務分掌

## 消防署

### (指揮指令係)

- (1) 消防通信業務に関すること。
- (2) 火災、救急、救助等の受信及び出動指令に関すること。
- (3) 災害現場の指揮に関すること。
- (4) 災害情報の収集及び情報支援に関すること。
- (5) 気象情報の収集、伝達及び記録統計に関すること。
- (6) 通信指令設備の維持管理に関すること。
- (7) 消防通信施設等の整備保全に関すること。
- (8) 災害時の関係機関との連絡及び通信計画の樹立に関すること。
- (9) 医療機関の把握に関すること。
- (10) 消防信号に関すること。
- (11) 防災行政無線に関すること。
- (12) 千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会に関すること。
- (13) その他消防通信全般に関すること。

### (総務係)

- (1) 消防署の庶務に関すること。
- (2) 公印及び物品の維持管理に関すること。
- (3) 文書管理に関すること。
- (4) 職員の勤務状況等に関すること。
- (5) 服務及び教養に関すること。
- (6) 職員の福利厚生及び公務災害に関すること。

### (予防係)

- (1) 防火対象物の立入検査に関すること。
- (2) 火災の調査に関すること。
- (3) 消防訓練の指導に関すること。
- (4) 火災予防条例に係る届出に関すること。
- (5) その他火災予防に関すること。

### (警防係)

- (1) 防火対象物の警防調査に関すること。
- (2) 消防資機材及び装備の維持管理に関すること。
- (3) 消防水利に関すること。
- (4) 部隊訓練に関すること。
- (5) その他警防に関すること。

### (救助係)

- (1) 救助資機材及び装備の維持管理に関すること。
- (2) 特別救助対象物の調査に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) その他救助に関すること。

### (救急係)

- (1) 救急救命に関すること。
- (2) 救急業務における安全管理及び感染防止に関すること。
- (3) 救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。
- (4) 救急の訓練に関すること。
- (5) その他救急に関すること。



## 千代田分署及び旭分署

### ( 総務係 )

- (1)分署の庶務に関すること。
- (2)物品の維持管理に関すること。
- (3)文書管理に関すること。
- (4)職員の勤務状況等に関すること。
- (5)サービス及び教養に関すること。
- (6)職員の福利厚生及び公務災害に関すること。

### ( 予防係 )

- (1)防火対象物の立入検査に関すること。
- (2)火災の調査に関すること。
- (3)消防訓練の指導に関すること。
- (4)火災予防条例に係る届出に関すること。
- (5)その他火災予防に関すること。

### ( 警防係 )

- (1)防火対象物の警防調査に関すること。
- (2)消防資機材及び装備の維持管理に関すること。
- (3)消防水利に関すること。
- (4)部隊訓練に関すること。
- (5)その他警防に関すること。
- (6)救急救命に関すること。
- (7)救急業務における安全管理及び感染防止に関すること。
- (8)救急資器材及び救急薬品の維持管理に関すること。
- (9)救急の訓練に関すること。
- (10)その他救急に関すること。

## 消防庁舎等の状況

署 所	所在地	建築年月	建物構造等	建築延面積	敷地面積
消 防 本 部 消 防 署	四街道市鹿渡 934番地26	昭和47年 4月	鉄筋コンクリート造 3階塔屋	873.17㎡	1,088.44㎡
千代田分署	四街道市千代田 5丁目33番地	昭和52年 7月	鉄筋コンクリート造 2階	487.76㎡	749.92㎡
旭 分 署	四街道市みそら 1丁目25番地	昭和56年11月	鉄筋コンクリート造 2階	516.29㎡	2,089.38㎡
消 防 用 地	四街道市鷹の台 3丁目15番2号	取得年月 (平成4年 7月)			1,500.06㎡ (1,500.06㎡)
消 防 用 地 (消防訓練場)	四街道市和良比 635番地1	取得年月 (平成8年12月) (平成13年2月) (平成13年3月)			5,739.26㎡ (4,622.74㎡) (869.78.㎡) (246.74㎡)

## ホームページ

市ホームページアドレス

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp>

消防本部ホームページアドレス

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shisei/shobo/index.html>

## 各所属電話番号等

所	属	電 話 番 号	F A X 番 号
消 防 本 部	総 務 課	043-422-2475	043-423-7650
	予 防 課	043-422-2485	
	警 防 課	043-422-2493	
消 防 署	消 防 署	043-422-0119(代表) 043-422-2494	043-424-1892
	千 代 田 分 署	043-424-0119	
	旭 分 署	043-432-0119	

## 階級別消防職員数

(各年4月1日現在)

年度	階級	条例定数	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
令和2年度		112	111 (2)	1	5	25	28 (1)	20		32 (1)	
令和3年度		112	113 (2)	1	6	26	28 (1)	19		33 (1)	
令和4年度		112	114 (3)	1	6	27	24 (1)	24		32 (2)	
令和5年度		123	111 (3)	1	5	21	21 (1)	26		37 (2)	
令和6年度		123	117 (6)	1	5	21	23 (1)	27		40 (5)	

※( )内は女性職員を表す。

※定数外職員を含む、再任用消防職員を除く。

## 階級別消防職員配置状況

(令和6年4月1日現在)

配置	階級	総数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
消防本部	消防長	1	1							
	次長	1		1						
	総務課	11 (1)		1	2	2	3		3 (1)	
	予防課	6		1	2	2	1			
	警防課	6		1	2	1	2			
消防署	消防署	52 (5)		1	7	12 (1)	10		22 (4)	
	千代田分署	20			3	3	6		8	
	旭分署	20			5	3	5		7	
合計		117 (6)	1	5	21	23 (1)	27		40 (5)	

※( )内は女性職員を表す。

※再任用消防職員を除く。

## 再任用消防職員配置状況

(各年4月1日現在)

年度・配置	階級	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
令和2年度	消防本部	3				2	1			
	消防署	7				1	6			
令和3年度	消防本部	3				2	1			
	消防署	9				1	8			
令和4年度	消防本部	3				2	1			
	消防署	7					7			
令和5年度	消防本部	3				1	2			
	消防署	6					6			
令和6年度	消防本部	2				1	1			
	消防署	5					5			

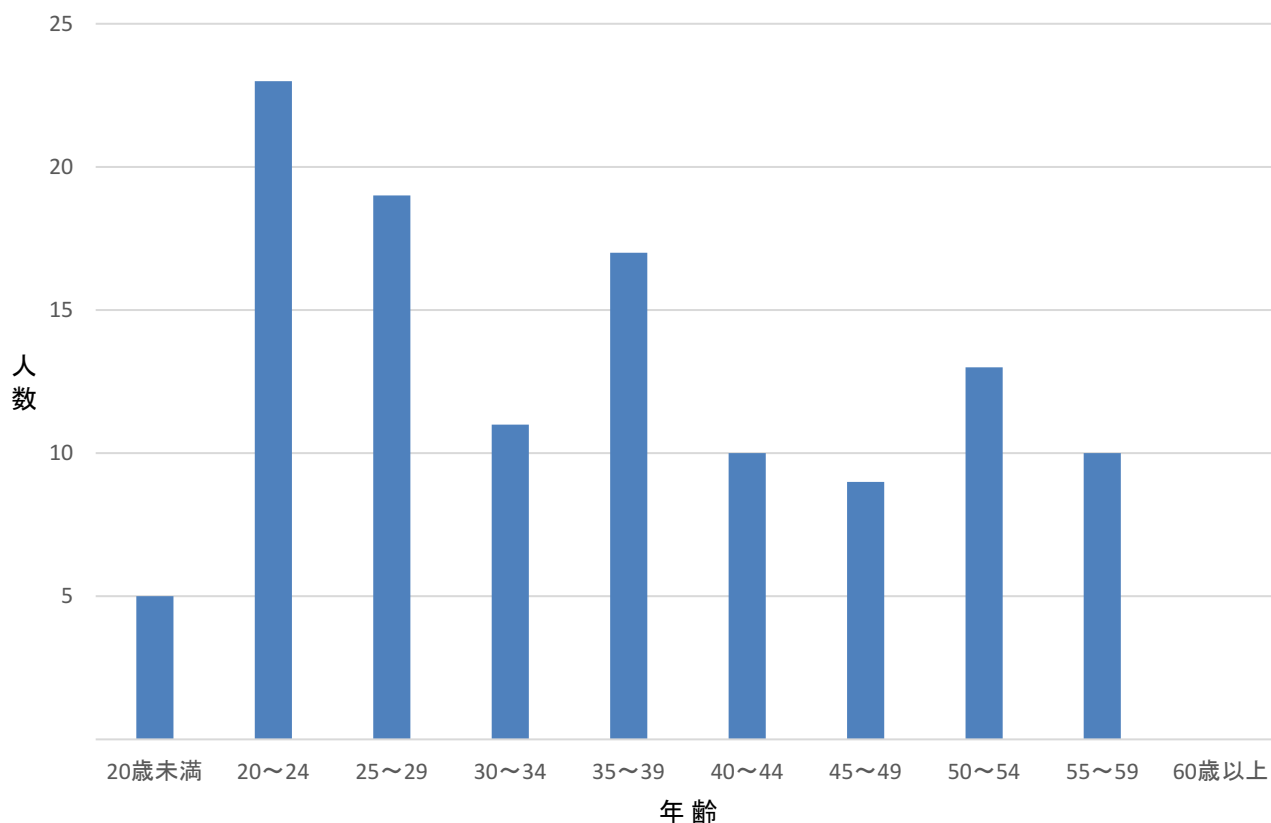
# 階級・年齢別消防職員構成

(令和6年4月1日現在)

年齢	階級	総数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
20歳未満		5 (2)							5 (2)	
20～24		23 (2)							23 (2)	
25～29		19 (1)					7		12 (1)	
30～34		11				2	9			
35～39		17 (1)				7 (1)	10			
40～44		10			1	8	1			
45～49		9			5	4				
50～54		13		3	9	1				
55～59		10	1	2	6	1				
60歳以上										
合計		117 (6)	1	5	21	23 (1)	27		40 (5)	
平均年齢		35.7	59.0	54.4	51.6	41.0	33.4		22.8	

※( )内は女性職員を表す。

※再任用消防職員を除く。



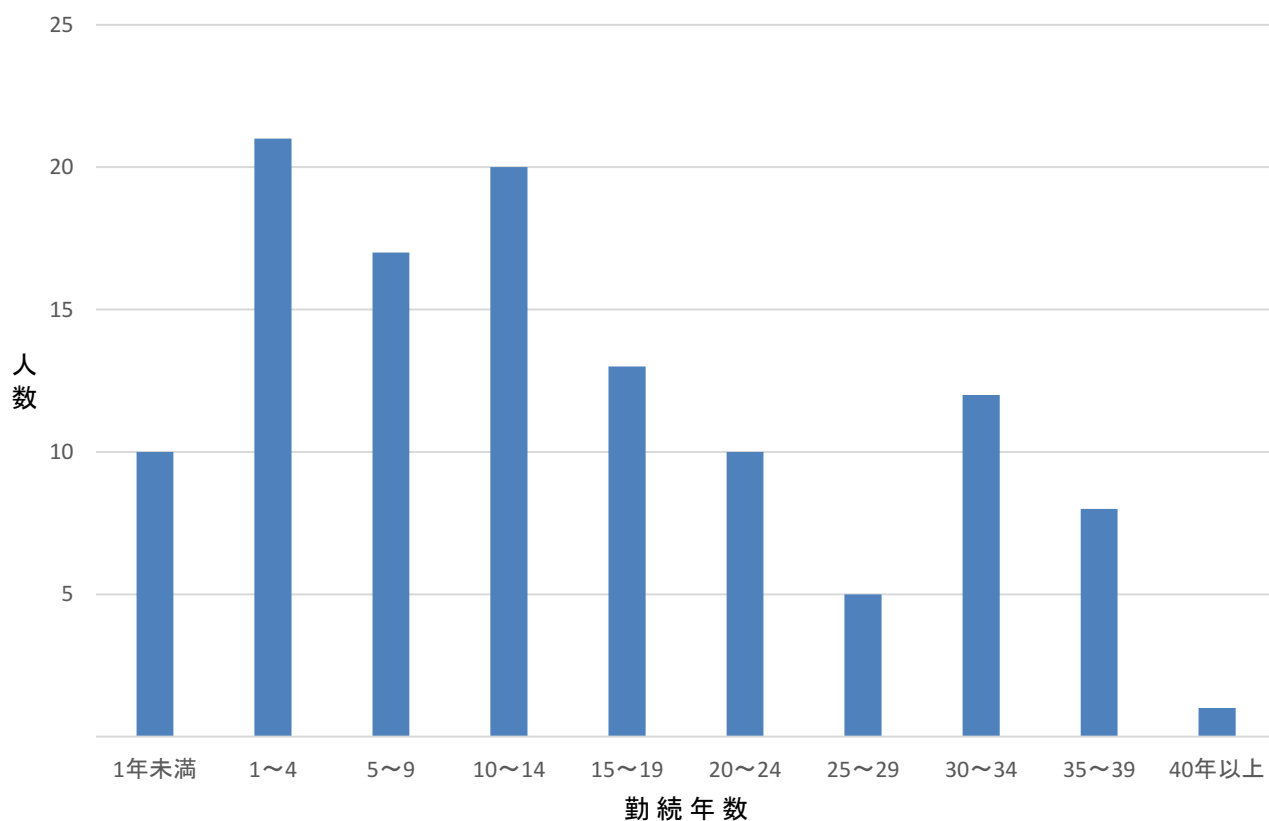
# 階級・勤続年数別消防職員構成

(令和6年4月1日現在)

勤続年数 \ 階級	総数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
1年未満	10 (3)							10 (3)	
1～4	21 (1)					1		20 (1)	
5～9	17 (1)					7		10 (1)	
10～14	20				6	14			
15～19	13 (1)				9 (1)	4			
20～24	10			4	6				
25～29	5			3	1	1			
30～34	12		2	9	1				
35～39	8	1	3	4					
40年以上	1			1					
合計	117 (6)	1	5	21	23 (1)	27		40 (5)	
平均勤続年数	14.3	39.0	33.8	30.6	18.5	11.0		2.5	

※( )内は女性職員を表す。

※再任用消防職員を除く。



# 職員研修状況

(令和5年度)

研修		階級	延人数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学校	総合教育	幹部科	1			1				
	専科教育	警防科								
		救助科								
		救急科								
		予防科								
		危険物科								
		火災調査科								
千葉県消防大学校	初任教育	初任科	2							2
	専科教育	警防科	1				1			
		特殊災害科								
		予防査察科	1					1		
		危険物科								
		火災調査科	1					1		
		救急科	4							4
		救助科	2					1		1
		幹部教育	中級幹部科							
	特別教育	訓練指導科	2				2			
はしご自動車等講習会		1					1			
その他	指導救命士養成研修 (救急救命九州研修所)		1				1			
	大型自動車運転免許		6					1		5
合計			22			1	4	5		12

## 公務災害発生状況

区分 年度	総数	原因							通 勤	療養期間		
		火 災	救急・ 救助	風水 害等	演 習 訓 練	訓 練 指 導	査 察 ・ 調 査	そ の 他		一 週 間 未 満	一 ヶ 月 未 満	一 ヶ 月 以 上
令和元年度												
令和2年度	1								1			1
令和3年度	1								1		1	
令和4年度	4		1		2			1		1	1	2
令和5年度	2					1			1		2	
合 計	8		1		2	1		1	3	1	4	3

## 消防職員表彰状況

(令和5年度)

表彰	階級 総数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
消 防 庁 長 官 功 労 章								
消防庁長官永年勤続功労章	1	1						
千葉県知事永年勤続功労章								
千葉県知事功労章								
千葉県知事精勤章	3					3		
千葉県防災危機管理部長章								
日本消防協会長功績章								
日本消防協会長精績章								
日本消防協会長勤続章	3		1	2				
千葉県消防協会長特別功労章								
千葉県消防協会長永年勤続功労章	1			1				
千葉県消防協会長功績章								
千葉県消防協会長功労章								
千葉県消防協会長精勤章								
四街道市消防長表彰	3					1	1	1
合 計	11	1	1	3	1	4		1

# 市一般会計予算と消防費予算の比率

(単位:千円)

区分 年度	市一般会計予算額 A	消防費予算額 B	比率 $\frac{B}{A}$ %
平成27年度	27,090,000	1,078,359	4.0
平成28年度	25,310,000	1,103,818	4.4
平成29年度	24,860,000	1,085,204	4.4
平成30年度	26,430,000	1,143,699	4.3
令和元年度	27,110,000	1,140,698	4.2
令和 2年度	27,260,000	1,075,254	3.9
令和 3年度	29,350,000	1,224,007	4.2
令和 4年度	31,960,000	1,184,395	3.7
令和 5年度	33,260,000	1,089,254	3.3
令和 6年度	35,920,000	1,266,514	3.5



# 年度別消防費(当初)節別内訳

(単位:千円)

目	節	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
1 常備 消防費	2 給料	434,063	434,751	412,166	427,732
	3 職員手当等	357,288	355,108	345,137	357,543
	4 共済費	141,796	142,693	136,521	146,034
	7 報償費	147	72	72	166
	8 旅費	312	455	422	729
	9 交際費	150	150	150	150
	10 需用費	41,954	43,535	52,724	59,550
	11 役務費	4,410	4,847	5,312	5,199
	12 委託料	18,758	19,363	19,505	20,170
	13 使用料及び賃借料	6,181	6,767	6,792	6,836
	17 備品購入費	3,460	20,020	7,799	1,767
	18 負担金補助及び交付金	4,906	5,712	4,428	7,718
	26 公課費	833	921	961	798
	小 計	1,014,258	1,034,394	991,989	1,034,392

2 非常 常備 消防費	1 報酬	10,673	27,061	26,960	24,218
	7 報償費	443	403	403	91
	8 旅費	11,000	1,069	298	220
	9 交際費	150	150	150	150
	10 需用費	7,361	4,102	5,123	5,506
	11 役務費	954	866	1,133	979
	12 委託料	738	738	2,102	36
	13 使用料及び賃借料	207	207	870	537
	17 備品購入費	73			814
	18 負担金補助及び交付金	9,124	9,372	9,439	9,581
	26 公課費	526	294	540	381
	小 計	41,249	44,262	47,018	42,513

3 消防 施設 費	8 旅費	318	411	417	480
	10 需用費	470	489	522	522
	11 役務費	245	261	242	251
	12 委託料			2,310	
	13 使用料及び賃借料				933
	14 工事請負費	6,464	15,140	3,006	9,702
	17 備品購入費	127,952	61,600	11,528	96,800
	18 負担金補助及び交付金	29,717	27,361	31,720	80,331
	26 公課費	99	39	33	107
	小 計	165,265	105,301	49,778	189,126

4 消防 広域 応援 費	8 旅費	8	6	6	6
	10 需用費	465	232	240	248
	13 使用料及び賃借料	256	155	178	184
	17 備品購入費	2,461			
	18 負担金補助及び交付金	45	45	45	45
	小 計	3,235	438	469	483

合 計		1,224,007	1,184,395	1,089,254	1,266,514
対前年度増減率(%)		13.8	△3.2	△ 8.0	16.3

# 予 防 編

# 防火対象物の現況



特定防火対象物



非特定防火対象物

(令和6年4月1日現在)

項	防火対象物の用途別		防火対象物数	
				地上5階以上
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	
	ロ	公会堂、集会場	38	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類		
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等		
	ニ	カラオケボックスその他これに類する施設等		
3	イ	待合、料理店の類		
	ロ	飲食店	49	
4		百貨店、マーケット	102	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	6	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	851	34
6	イ	病院、診療所、助産所	36	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム	31	1
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム	72	1
	ニ	幼稚園、又は特別支援学校	11	
7		小、中、高、大、各種学校	25	1
8		図書館、博物館、美術館	1	
9	イ	特殊浴場、サウナ浴場		
	ロ	公衆浴場		
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	2	
11		神社、寺院、教会の類	14	
12	イ	工場、作業場	65	1
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫、駐車場	3	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫	73	
15		前各項に該当しない事業場	95	2
16	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	172	18
	ロ	複合用途防火対象物で上記以外のもの	43	4
17		重要文化財	1	
18		延長50m以上のアーケード		
合 計			1,696	62

# 建築同意件数

(令和5年度)

同意処理 工事種別	合 計	同 意		不 同 意
		指 導 無	指 導 有	
新 築	54	16	38	
増 築	4	3	1	
改 築				
用途変更				
そ の 他				
合 計	58	19	39	

# 建築同意件数内訳

特定防火対象物  非特定防火対象物

(令和5年度)

項	防火対象物の用途別	計	防火対象物の用途別													
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場															
	ロ 公会堂、集会場	1										1				
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類															
	ロ 遊技場、ダンスホール															
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ カラオケボックスその他これに類する施設等															
3	イ 待合、料理店の類															
	ロ 飲食店															
4	百貨店、マーケット	4		2						1				1		
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所															
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	10	2	1	1			2		1			1	1	1	
6	イ 病院、診療所、助産所	2			1									1		
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム	4				1		1		1					1	
	ハ 老人デイサービスセンター、経費老人ホーム	3	1							1				1		
	ニ 幼稚園、特別支援学校															
7	小、中、高、大、各種学校	3				1	1									1
8	図書館、博物館、美術館															
9	イ 特殊浴場、サウナ浴場															
	ロ 公衆浴場															
10	車両の停車場、船舶又は航空機の発着場															
11	神社、寺院、教会の類															
12	イ 工場、作業場	1														1
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ															
13	イ 自動車車庫、駐車場	4			1						1	1				1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14	倉庫	14	2	3		2			3	1	2			1		
15	前各項に該当しない事業場	4	1											2	1	
16	イ 複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	2							1	1						
	ロ 複合用途防火対象物で上記以外のもの	1			1											
17	重要文化財															
18	延長50m以上のアーケード															
	そ の 他	5		1	1				1		1			1		
	合 計	58	6	7	5	4	1	4	6	6	4	7	3	5		

# 消防用設備等届出状況

(令和5年度)

設備	区分	着工届	工事計画	設置届
消 火 器 具				32
屋 内 消 火 栓 設 備		6		5
スプリンクラー設備		2		2
水 噴 霧 消 火 設 備				
泡 消 火 設 備		1		2
二酸化炭素消火設備				
ハロゲン化物消火設備				
粉 末 消 火 設 備		1		1
屋 外 消 火 栓 設 備		3		2
動力消防ポンプ設備				
自 動 火 災 報 知 設 備		25		37
ガス漏れ火災警報設備				
漏 電 火 災 警 報 器				
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備		2		3
非 常 警 報 器 具 又 は 非 常 警 報 設 備			9	10
避 難 器 具			2	4
誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識			33	30
消 防 用 水			3	3
排 煙 設 備				
連 結 散 水 設 備				
連 結 送 水 管				
非 常 コ ン セ ン ト 設 備				
無 線 通 信 補 助 設 備				
パ ー ク ー ジ 型 自 動 消 火 設 備				
パ ー ク ー ジ 型 消 火 設 備		1		1
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備				
合 計		41	47	132

# 各種届出状況

(令和5年度)

届 出	件 数
防 火 対 象 物 使 用 開 始	74
炉 ・ ボ イ ラ ー	
変電・発電・蓄電池設備	7
水素ガスを充てんする 気 球 の 届 出	
怪 煙 行 為	123
煙 火 の 打 上 げ	15
催 物 の 開 催	
水 道 断 減 水	
道 路 工 事	278
露 店 等 の 開 設 届 出	13
少 量 危 険 物	3
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス	
指 定 可 燃 物	1
合 計	514

## 防火管理者選解任届出状況

年度	区分	合計(人)	選任	解任
令和元年度		219	131	88
令和2年度		182	101	81
令和3年度		248	140	108
令和4年度		237	133	104
令和5年度		250	135	115

## 防火対象物点検結果状況及び甲種防火管理者再講習受講状況

年度	区分	対象物数	報告済	受講済
令和元年度		46	21	9
令和2年度		49	39	8
令和3年度		46	35	8
令和4年度		46	35	7
令和5年度		47	34	3

# 査察(防火対象物)



特定防火対象物



非特定防火対象物

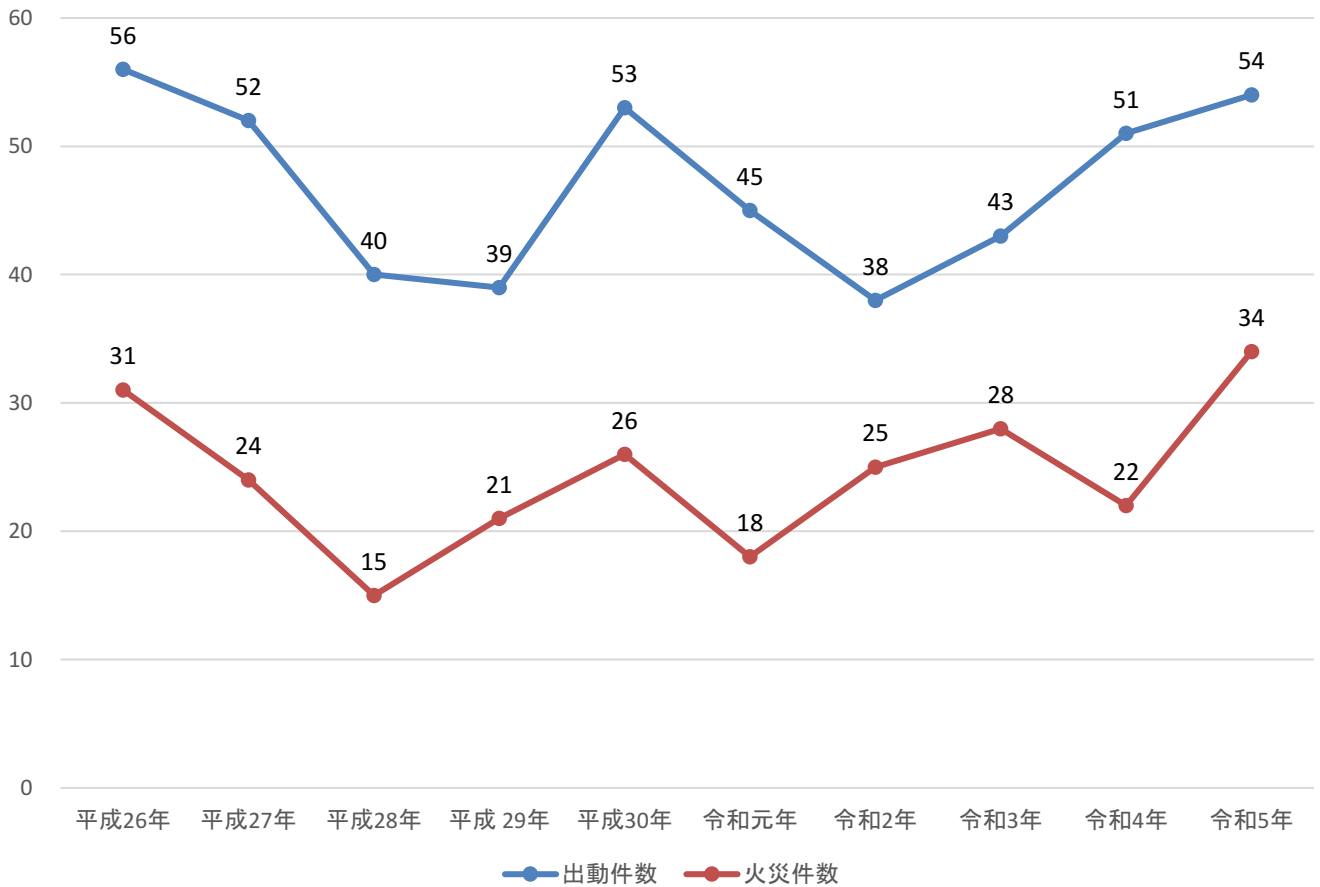
(令和5年度)

項	区分	対象物数	立入検査件数	改善指摘件数	警告件数	命令件数	告発等件数
1	イ	2					
	ロ	38					
2	イ						
	ロ	4					
	ハ						
	ニ						
3	イ						
	ロ	49	2	2			
4		102	3	2			
5	イ	6					
	ロ	851	8	7			
6	イ	36					
	ロ	31					
	ハ	72					
	ニ	11					
7		25					
8		1					
9	イ						
	ロ						
10		2					
11		14	1	1			
12	イ	65	9	8			
	ロ						
13	イ	3					
	ロ						
14		73	2	2			
15		95	1	1			
16	イ	172	5	5	1		
	ロ	43	1	1			
17		1					
18							
合 計		1,696	32	29	1		

# 火災出動件数・火災件数

年	区分	出動件数	火災件数	火災種別					誤報等	出火率
				建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	左記以外		
平成26年		56	31	16	1	2	12		25	3.4
平成27年		52	24	12		4	8		28	2.6
平成28年		40	15	4	1		10		25	1.6
平成29年		39	21	5	2	2	12		18	2.3
平成30年		53	26	11	2		13		27	2.8
令和元年		45	18	6	1	5	6		27	1.9
令和2年		38	25	14	2	1	8		13	2.6
令和3年		43	28	11		3	14		15	2.9
令和4年		51	22	12	1	1	8		29	2.3
令和5年		54	34	18		3	13		20	3.6
合計		471	244	109	10	21	104		227	2.6

※出火率は、人口1万人あたりの火災件数を表す。





## 月別火災件数推移

年	月	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成26年		31	2	2	3	5	5	1	2	3	1		1	6
平成27年		24	5	2	2	1	1	1		3	3	1	1	4
平成28年		15	1	1	1	1	1	3	1	1		1	3	1
平成29年		21	2	2	3	4		1	1	1	1	2	2	2
平成30年		26	6	2	2	3	2		4	2	1	2		2
令和元年		18	2	1	3	2		1	1	1	2	1	4	
令和 2年		25	1	4	2	1	3		2	3	2	3	1	3
令和 3年		28	5	1	4	2	3	2		1	1	3	2	4
令和 4年		22	2	5	1	1		4	3	1		2	1	2
令和 5年		34	6	5	1	4	2	1	2	2	4		3	4
合 計		244	32	25	22	24	17	14	16	18	15	15	18	28

## 火災被害状況推移

年	区分	損害額 (単位:千円)	建物焼損床面積 (㎡)	り災世帯	り災人員	死 者	負傷者
平成26年		50,929	829	33	49	1	1
平成27年		63,185	550	11	23	1	2
平成28年		17,108	281	1	2		
平成29年		55	162	5	13		4
平成30年		89,106	451	8	28	3	6
令和元年		88,267	739	9	24		1
令和 2年		86,377	785	13	28	1	9
令和 3年		70,653	622	10	18	3	2
令和 4年		95,963	691	14	30	1	4
令和 5年		46,959	822	11	27	1	2
合 計		608,602	5,932	115	242	11	31

# 各地区別火災発生状況

地区		年	合計	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
消 防 署	下志津新田	6	2					1			1		2
	さつきが丘												
	四 街 道	20	7	2	1	1			1	2	2	1	3
	鹿 渡	10		1		1			1	2		3	2
	中 央	7	1					1			1	1	3
	さちが丘												
	みのり町	2									1		1
	和 良 比	8		1	2			3			1		1
	美しが丘	3			1						1	1	
	め い わ	2	1							1			
	栗 山	8				1	2	2	1	2			
	つくし座	1											1
	鹿放ヶ丘	31	3	5	4	3	4	2	1	3	1	5	
	大 日	47	4	2	4	4	5	3	6	7	7	5	
	萱 橋												
小計	145	18	11	12	10	16	9	13	19	14	23		
千 代 田 分 署	長 岡	2									1	1	
	物 井	10	1	2		1	1	2	1	1		1	
	もねの里	2										2	
	亀 崎	6		1		1			2		1	1	
	千 代 田	12	1	1	1	1	4	1	1		1	1	
	内 黒 田	10	1	1		3		2		1	1	1	
	池 花	1				1							
	小計	43	3	5	1	7	5	5	4	2	4	7	
旭 分 署	小 名 木	4	1	1		1	1						
	吉 岡	14	2	1		1	3	1	1		3	2	
	南 上 和	9	1				1	1	2	4			
	成 台 中	5	1			2			1			1	
	山 梨	11	3	1	1				3	2	1		
	旭ヶ丘	5	1	3				1					
	みそら	4		1	1			1		1			
	鷹の台	2	1						1				
	たかおの杜												
	小計	54	10	7	2	4	5	4	8	7	4	3	
東関東自動車道	2		1									1	
合 計	244	31	24	15	21	26	18	25	28	22	34		

# 原因別火災件数推移

区分 \ 年	合計	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
たばこ	21	1		1	1	3	1	4	4	1	5
こんろ	17	3	2		2	1	2	1	3		3
かまど											
風呂かまど	1	1									
炉											
焼却炉	2					1					1
ストーブ	6					1		3		1	1
こたつ											
ボイラー											
煙突・煙道	1		1								
排気管	4						2			1	1
電気機器	11		1	1		1		2	3	3	
電気装置	2			1							1
電灯・電話等の配線	8					1	1	2	1	2	1
内燃機関	1		1								
配線器具	11	1	2	2	1	1			2	1	1
火あそび	5	2	1		1						1
マッチ・ライター	2	1								1	
たき火	22	3	1		6	3		2	1	2	4
溶接機・溶断機	11	2	4					1	2	2	
灯火	6	1				2		1	1	1	
衝突の火花	1				1						
取灰	1		1								
火入れ	4	1					1	1		1	
放火	8	3					1		1	1	2
放火の疑い	22		3	4	1	5	7				2
その他	21	3		3	3	2		3	1	3	3
不明・調査中	56	9	7	3	5	5	3	5	9	2	8
合計	244	31	24	15	21	26	18	25	28	22	34

# 時間別火災件数

時間		年										
		合計	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
夜間	0～1	3					1	1				1
	1～2	6		2	1	1		1			1	
	2～3	5		1	1			1		1		1
	3～4	6	2			1		1	1			1
	4～5	3	1	1						1		
	5～6	4		1					1			2
昼間	6～7	5							1	2	1	1
	7～8	5		1	1		1	1			1	
	8～9	12		1	2		2	4	1	1	1	
	9～10	14	1	1		1	1	2	1	1	3	3
	10～11	20	3	3		4	1		4	2	1	2
	11～12	12	1	2		2	2	2			1	2
	12～13	15	2			1			2	3	3	4
	13～14	17	4	2		1	3	1	3		1	2
	14～15	17	2	2		2	1	1	2	3	2	2
	15～16	16	1	2	4		2	1	2	1		3
	16～17	20	3	1		1	4		2	3	3	3
	17～18	16	2	3	1	2	1		1	2	2	2
夜間	18～19	12	2	1	2	1	3	1	1		1	
	19～20	8	1			1	2			2		2
	20～21	10	1		1	1	1		2	2	1	1
	21～22	9	2		2	1				4		
	22～23	5	3				1					1
	23～24	4				1		1	1			1
合計		244	31	24	15	21	26	18	25	28	22	34

# 危険物規制

危険物規制に係る業務は、主として危険物施設の許認可に関する事務と、それに伴う検査・指導及び各種届出の受け付け事務です。

## 危険物施設数推移

施設区分 年度	合計	製造所	貯蔵所							取扱所		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	セルフ	一般取扱所
令和元年度	100	1	5	13		17		24	2	32	7	6
令和2年度	101	1	6	13		16		25	2	32	7	6
令和3年度	101	1	6	13		16		26	2	31	8	6
令和4年度	103	1	6	13		16		27	2	32	8	6
令和5年度	102	1	6	13		15		28	2	31	8	6

## 危険物施設の事務処理状況

(令和5年度)

施設区分 区分	合計	製造所	貯蔵所							取扱所		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	セルフ	一般取扱所
設置許可	3		1			1		1				
変更許可	4									4	4	
設置完成	1							1				
変更完成	4									4	4	
廃止	2					1				1		
仮使用	4									4	4	
仮貯蔵												
仮取扱	1									1		

# 査察(危険物施設)

(令和5年度)

施設区分	施設数	立入検査件数	改善指摘件数	警告件数	命令件数	告発等件数
製造所	1					
貯蔵所	屋内	6	1	1		
	屋外タンク	13				
	屋内タンク					
	地下タンク	15	1			
	簡易タンク					
	移動タンク	28	9			
	屋外	2				
取扱所	給油取扱所	31	15	6	1	
	セルフ	8	10	1		
	一般取扱所	6				
合計	102	26	7		1	

## 四街道市危険物安全協会

(目的)

本会は、会員相互の融和を図るとともに、危険物及び指定可燃物（以下「危険物等」という。）の取扱い及び管理の向上並びに危険物等に起因する災害の防止に努め、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

### 主な活動

- ・危険物取扱者試験受験者講習会の開催
- ・防火・防災に関する視察研修
- ・優良事業所・優良危険物取扱者の表彰
- ・危険物事故の防止・火災予防啓発活動
- ・消防関係行事への協力活動

(令和6年4月1日現在)

会 員 数	77
-------	----

## 四街道市女性防火クラブ

(目的)

火災予防知識や火災時の適切な対応等を習得させ、地域における女性防火リーダーを育成することで、防火思想の普及と火災等の防止及び火災等による被害の軽減を図ることを目的としています。

### 主な活動

- ・防火知識に関する研修や防火・防災に関する視察研修
- ・応急手当や救命処置に関する講習
- ・住宅用火災警報器の普及などの火災予防啓発活動
- ・消火器の取扱訓練
- ・消防関係行事への協力活動

(令和6年4月1日現在)

ク ラ ブ 員 数	24
-----------	----

# 警 防 編



# 救急業務

令和6年4月1日現在の救急自動車保有台数は、高規格救急自動車5台(非常用1台含む)であり、救急隊員20名のうち20名が救急救命士です。

消防職員124名(再任用者含む。)のうち、救急隊員として資格を有している職員は101名のうち27名が救急救命士です。

令和5年中の救急出動件数は、5,456件で令和4年中と比較して290件(5.6%)の増加であり、事故種別でみると、急病3,715件(68.1%)、一般負傷815件(14.9%)、交通事故301件(5.5%)の順です。また、搬送人員については、4,609人であり、前年に比較して222人(5.1%)の増加となっています。

## 救急隊員の状況

(令和6年4月1日現在)

階級 所属	合計	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
消防署	6 (6)	( )	2 (2)	3 (3)	1 (1)
千代田分署	9 (9)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)
旭分署	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
合計	20 (20)	4 (4)	5 (5)	6 (6)	5 (5)

※( )内は、救急救命士隊員数

## 救急資格(要件)別職員数

(令和6年4月1日現在)

階級 資格(要件)	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
救急救命士	27		1	7	6	8	5
指導救命士認定	5		1	1	3		
気管挿管認定救命士	24		1	7	6	8	2
ビデオ喉頭鏡認定救命士	21			7	5	7	2
薬剤投与認定救命士	24		1	6	6	8	3
処置範囲拡大2行為認定	24		1	6	6	8	3
救急隊員有資格者	74	1	4	13	19	24	13
救急科	51			2	18	18	13
救急標準課程	17		4	9	1	3	
救急I課程							
救急II課程	6	1		2		3	
合計	101	1	5	20	25	32	18

## 救急隊員が実施した救急処置状況

(令和5年中)

事故種別	対象人員	合計	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	心電図測定	保温	被覆	在宅療法	心音呼吸音の聴取	血中酸素飽和度測定	血圧測定	気道確保	経鼻エアウェイによる気道確保	喉頭鏡・鉗子による異物除去	※器具使用による気道確保	※気管挿管	除細動	※薬剤投与	※静脈路確保(輸液)		※ブドウ糖溶液投与	血糖測定	その他の応急処置	
																						※心肺停止前	※心肺停止後				
急病	3,634	16,290	26	13	14	103	611	2,537	7	11	25	578	3,536	3,339	111	1	2	47	7	8	34	90	37	44	17	74	5,156
交通事故	324	1,546	10	122		3	32	120	1	42		64	319	311	3			2			2	6	4	2			511
一般負傷	790	3,592	72	84	1	3	25	385	2	207		53	782	731	4		3	1			1	2	1	1		2	1,238
その他	472	2,031	10	35	4	16	111	293	1	23	1	40	453	438	12		1	1		1	1	3	1	2		1	588
合計	5,220	23,459	118	254	19	125	779	3,335	11	283	26	735	5,090	4,819	130	1	6	51	7	9	38	101	43	49	17	77	7,493

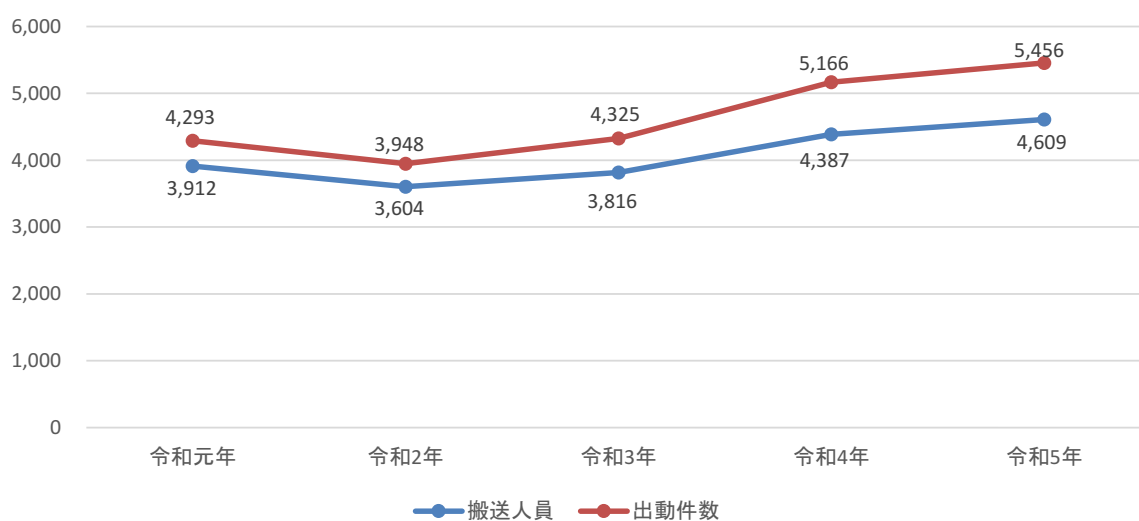
※医師の具体的指示を必要とする救急救命処置

## 年別救急出動件数

事故種別 年	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
令和元年	4,293	10	2		327	38	44	685	25	34	2,583	391			154
令和2年	3,948	18			246	48	24	659	32	32	2,441	318	2		128
令和3年	4,325	12			241	43	15	742	10	39	2,823	274	3		123
令和4年	5,166	19	1		329	41	25	827	19	47	3,429	284	1		144
令和5年	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165

## 年別救急搬送人員

事故種別 年	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
令和元年	3,912	1	2		321	38	44	639	18	25	2,431	390			3
令和2年	3,604	9			237	47	22	615	22	21	2,310	318			3
令和3年	3,816	2			229	41	16	675	5	25	2,544	274			5
令和4年	4,387	5	1		322	40	25	730	14	33	2,926	283			8
令和5年	4,609	2			286	49	28	720	7	30	3,186	297			4



# 月別救急出動件数及び搬送人員

(令和5年中)

月	事故種別 区分	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
1	出動件数	533	5			30	1	2	73		2	376	16			28
	搬送人員	404				29	1	2	58		1	297	16			
2	出動件数	356	2			17	4	1	61	1	3	236	21			10
	搬送人員	304	1			20	3	1	52	1	1	204	21			
3	出動件数	383			1	19	3	1	66	3	4	247	30			9
	搬送人員	341				23	3	1	62	3	2	217	30			
4	出動件数	408	1			20	8	4	75	2	6	259	19			14
	搬送人員	355				17	8	3	67	1	6	234	19			
5	出動件数	437	1			26	3	5	68	1	4	294	28			7
	搬送人員	391				24	3	4	65	1	2	264	28			
6	出動件数	440	1			25	6	6	70	1	4	280	37			10
	搬送人員	407				25	6	6	62		2	268	37			1
7	出動件数	544	2			38	8		57	1	2	393	29			14
	搬送人員	459				38	8		52	1	2	329	29			
8	出動件数	509	2			23	6	4	55	1	7	375	18			18
	搬送人員	387				16	5	3	45		4	296	18			
9	出動件数	468	4	1		24	2	2	67		3	330	23			12
	搬送人員	378	1			19	2	2	60		2	269	23			
10	出動件数	486				28	2	2	81		5	318	33			17
	搬送人員	412				31	2	2	72		3	269	32			1
11	出動件数	412	1			27	4	2	67		4	273	20			14
	搬送人員	353				21	3	2	62		4	240	20			1
12	出動件数	480	2			24	5	2	75		2	334	24			12
	搬送人員	418				23	5	2	63		1	299	24			1
合計	出動件数	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165
	搬送人員	4,609	2			286	49	28	720	7	30	3,186	297			4

# 年齢別・性別救急搬送人員

(令和5年中)

年齢 \ 性別		合計	小計	月											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0～4歳	男	310	183	9	7	9	17	18	28	24	18	15	15	9	14
	女		127	6	5	14	9	10	18	18	7	14	8	6	12
5～9歳	男	106	56	6	1	5	6	9	4	8	2	3	5	3	4
	女		50	4	3	2	1	4	7	7	1	3	5	6	7
10～19歳	男	200	104	9	9	11	6	13	10	8	7	8	3	11	9
	女		96	7	5	5	9	7	12	11	7	10	11	4	8
20～29歳	男	233	119	9	4	7	8	11	7	14	10	15	12	11	11
	女		114	8	9	12	10	10	5	10	7	9	11	10	13
30～39歳	男	252	127	6	6	8	8	7	10	15	15	18	11	12	11
	女		125	8	14	8	10	12	10	14	8	11	13	5	12
40～49歳	男	251	147	8	7	11	14	13	13	15	17	14	11	10	14
	女		104	9	5	11	8	13	14	9	4	15	5	7	4
50～59歳	男	432	248	18	11	17	23	23	21	25	27	20	27	18	18
	女		184	19	10	13	16	8	17	15	22	18	19	10	17
60～69歳	男	346	215	22	16	19	13	17	12	18	22	16	20	20	20
	女		131	19	4	8	10	10	12	18	8	8	14	9	11
70～79歳	男	881	477	57	27	30	34	42	41	48	39	31	43	37	48
	女		404	40	26	34	30	23	44	45	33	25	40	29	35
80歳以上	男	1,598	780	65	74	54	55	68	58	73	64	69	65	63	72
	女		818	75	61	63	68	73	64	64	69	56	74	73	78
月別合計	男	4,609	2,456	209	162	171	184	221	204	248	221	209	212	194	221
	女		2,153	195	142	170	171	170	203	211	166	169	200	159	197
合計		4,609		404	304	341	355	391	407	459	387	378	412	353	418

# 事故種別・傷病程度別救急搬送人員

(令和5年中)

年齢区分	事故種別		合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
	程度													
新生児 0日～28日未満	死亡													
	重症													
	中等症	4												4
	軽症	1								1				
	その他													
	小計	5								1				4
乳幼児 28日以上7歳未満	死亡	1				1								
	重症	3												3
	中等症	60				2				11			39	8
	軽症	294				7				69			218	
	その他													
	小計	358				10				80			257	11
少年 7歳以上18歳未満	死亡													
	重症	8				2							2	4
	中等症	59				7		4	3		1		38	6
	軽症	144				25		18	27	1			71	2
	その他													
	小計	211				34		22	30	1	1	111	12	
成人 18歳以上65歳未満	死亡	4										1	3	
	重症	88				7	5	1	4		7		46	18
	中等症	547	1			34	19	4	34	1	10		375	69
	軽症	720	1			127	19	1	74	4	7		480	7
	その他													
	小計	1,359	2			168	43	6	112	5	25	904	94	
高齢者 65歳以上	死亡	32							1		1		27	3
	重症	266				4	1		13				213	35
	中等症	1,442				21	3		215		3	1,076	124	
	軽症	935				49	2		267	1		598	18	
	その他	1							1					
	小計	2,676				74	6		497	1	4	1,914	180	
合計	死亡	37				1			1		2		30	3
	重症	365				13	6	1	17		7		261	60
	中等症	2,112	1			64	22	8	263	1	14	1,528	211	
	軽症	2,094	1			208	21	19	438	6	7	1,367	27	
	その他	1							1					
	合計	4,609	2			286	49	28	720	7	30	3,186	301	

## 曜日別救急出動件数

(令和5年中)

事故種別 曜日	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
日	775	4			35	5	9	129	1	5	548	18			21
月	782	2			34	10	2	104	1	8	546	49			26
火	805	2		1	42	10	1	121	1	6	543	58			20
水	793	2			52	4	6	112	2	10	524	56			25
木	739	5			47	8	2	105	4	4	516	29			19
金	775	3	1		41	11	4	118	1	8	501	61			26
土	787	3			50	4	7	126		5	537	27			28
合計	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165

## 時間別救急出動件数

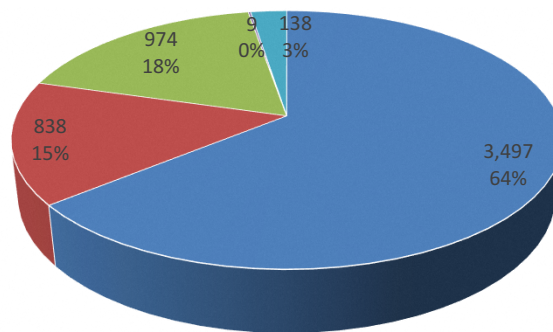
(令和5年中)

事故種別 時間	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他
0~2	246				12			19	1	5	196	4			9
2~4	219	1			10			21		4	174	1			8
4~6	195	2			4			15		1	163	1			9
6~8	379	2			27	2	2	43		4	291	1			7
8~10	611	3			23	14	4	93	2	2	416	38			16
10~12	591	2			31	8	5	100		5	361	61			18
12~14	635	3			27	9	4	119	1	5	368	78			21
14~16	635	3		1	44	9	9	119	1	3	376	46			24
16~18	556	1			55	8	4	90	2	4	335	35			22
18~20	575	1	1		38	2	1	86	1	5	410	21			9
20~22	445	1			23		2	68		3	331	5			12
22~24	369	2			7			42	2	5	294	7			10
合計	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165

# 各地区別救急出動件数

(令和5年中)

事故種別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他						
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他			
地区																		
消防署	下志津新田	157	1			10	1		23			117	1				4	
	さつきヶ丘	20							4			15					1	
	四街道	436	3			30		4	81	2	2	280	13				21	
	鹿渡	433	2			14	3	1	61	1	1	236	98				16	
	中央	77				8	2		18		1	48						
	さちが丘	57							9			48						
	みのり町	22							2			19					1	
	和良比	354				16			53		11	250	11				13	
	美しが丘	132			1	7	2	1	17		3	98					3	
	めいわ	249				11			44	1	6	179					6	
	栗山	294				11	4	2	38		3	201	28				7	
	つくし座	66	2			2			13			45	1				2	
	鹿放ヶ丘	138	2			26	4		9		3	92					2	
	大萱	1,061	4			63	11	7	150	2	6	769	19				30	
萱橋	1										1							
小計	3,497	14		1	198	27	18	522	6	36	2,398	171				106		
千代田分署	長岡	4				1					3							
	物井	113				10	1		18		1	79					4	
	もねの里	196	3			7	4	1	26		1	144	6				4	
	亀崎	16							4			11					1	
	千代田	407	1			8	4	1	74		1	303					15	
	内黒田	61				8	2	2	9		2	38						
	池花	41				3			6		1	30					1	
小計	838	4			37	11	4	137		6	608	6				25		
旭分署	小名木	40				7	2	1	8			21					1	
	吉岡	191	2			15	2		11			51	109				1	
	南上和	82				9	2	7	20			38					6	
	成台中	77				3			7	1		66						
	山梨	64		1		5	2		6	1		45	3				1	
	旭ヶ丘	213				3	1		38	1	1	162					7	
	みそら	180				6	1	1	37	1	1	125					8	
	鷹の台	117				6	2		14			88	7					
小計	974	2	1		56	13	9	141	4	3	602	119				24		
東関東自動車道	9	1			4						4							
管轄外	138				6	1		15		1	103	2					10	
合計	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298				165		



■ 消防署 ■ 千代田分署 ■ 旭分署 ■ 東関東自動車道 ■ 管轄外

# 署所別救急出動件数及び搬送人員

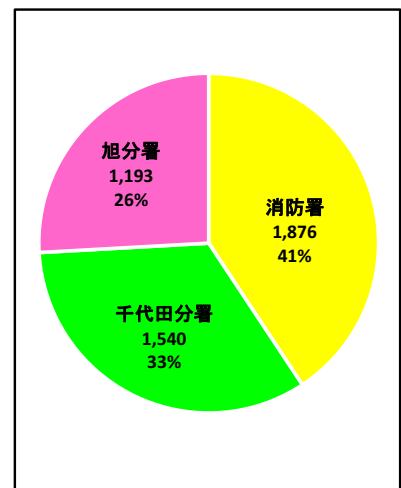
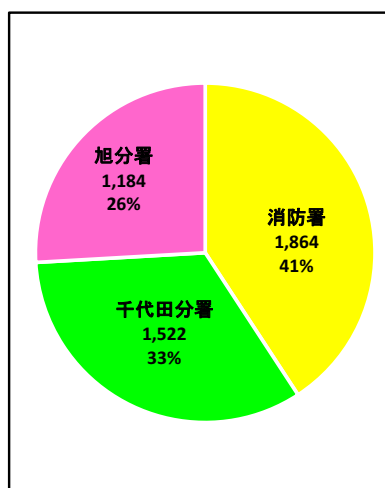
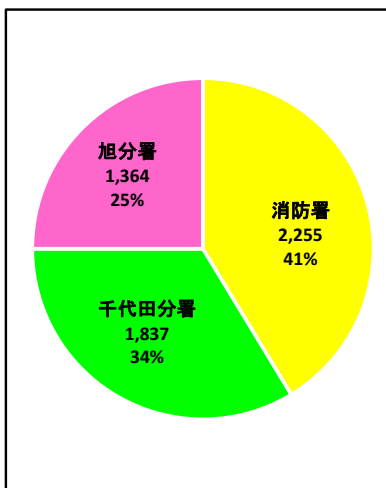
(令和5年中)

署所	事故種別 区分	合計	火災 事故	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急 病	その他			
													転院 搬送	医師 搬送	資機 材等輸送	その 他
消防署	出動件数	2,255	7		1	119	11	19	334	5	26	1,542	121			70
	搬送件数	1,864				97	11	17	293	4	17	1,304	120			1
	不搬送	110	6		1	2			7	1	7	36	1			49
	搬送人員	1,876				106	11	17	293	4	17	1,307	120			1
千代田分署	出動件数	1,837	12	1		116	26	7	269	1	13	1,264	72			56
	搬送件数	1,522	2			98	24	6	230	1	9	1,077	72			3
	不搬送	93	10			3			5		2	31				42
	搬送人員	1,540	2			113	24	6	231	1	9	1,079	72			3
旭分署	出動件数	1,364	2			66	15	5	212	4	7	909	105			39
	搬送件数	1,184				62	14	5	195	2	4	797	105			
	不搬送	51	2								3	18				28
	搬送人員	1,193				67	14	5	196	2	4	800	105			
合計	出動件数	5,456	21	1	1	301	52	31	815	10	46	3,715	298			165
	搬送件数	4,570	2			257	49	28	718	7	30	3,178	297			4
	不搬送	254	18		1	5			12	1	12	85	1			119
	搬送人員	4,609	2			286	49	28	720	7	30	3,186	297			4

出動件数 5,456件

搬送件数 4,570件

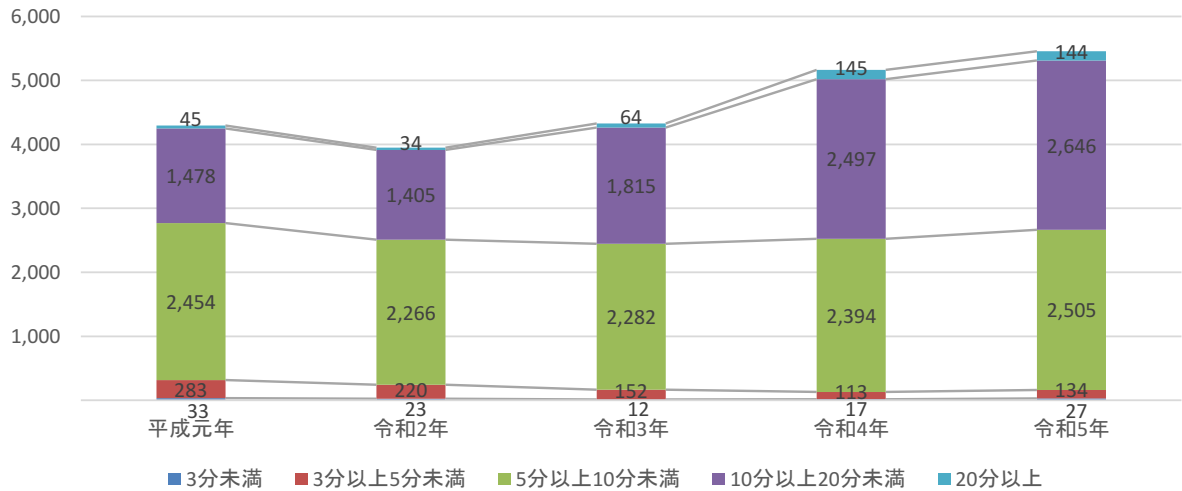
搬送人員 4,609人





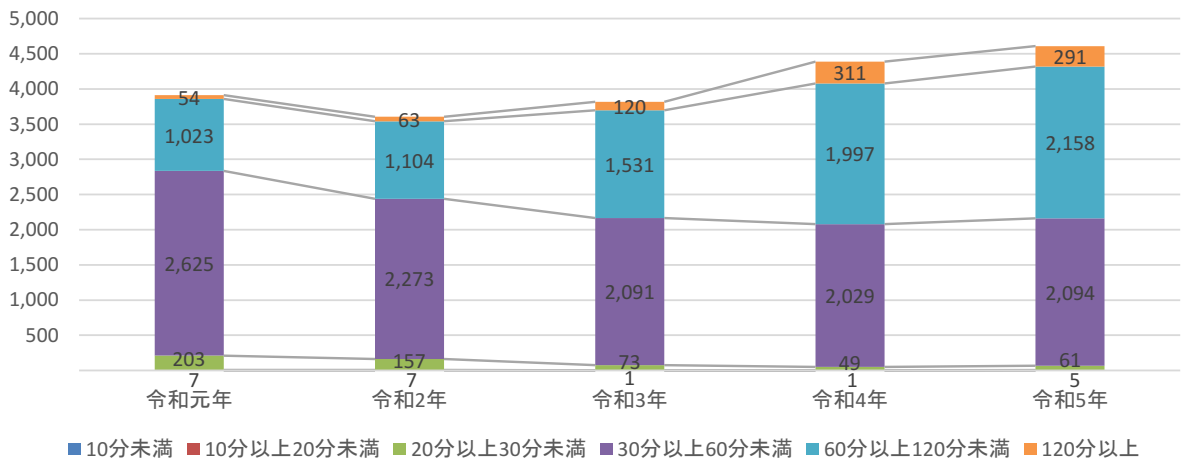
## 現場到着所要時間別出動件数

年	時間	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均(分)
令和元年		4,293	33	283	2,454	1,478	45	8.7
令和2年		3,948	23	220	2,266	1,405	34	9.0
令和3年		4,325	12	152	2,282	1,815	64	9.5
令和4年		5,166	17	113	2,394	2,497	145	10.3
令和5年		5,456	27	134	2,505	2,646	144	10.3



## 病院收容所要時間別搬送人員

年	時間	合計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均(分)
令和元年		3,912	7	7	203	2,625	1,023	54	53.1
令和2年		3,604	7	7	157	2,273	1,104	63	55.6
令和3年		3,816	1	1	73	2,091	1,531	120	61.8
令和4年		4,387	1	1	49	2,029	1,997	311	69.6
令和5年		4,609	5	5	61	2,094	2,158	291	68.5



## ドクターヘリ

ドクターヘリとは、救急用の医療機器等を装備したヘリコプターに救急医療の専門医及び看護師等が同乗し、消防機関等の要請により救急現場に向い、救急現場等から医療機関に搬送する間、患者に救命医療を行うことのできるヘリコプターです。

## ドクターヘリ出動状況

年	事故種別	合計	火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他
令和元年		49				8	4		4		1	30	2
令和2年		53				7	11		7		1	26	1
令和3年		49	1			2	6		8		5	26	1
令和4年		56				13	2		2		1	36	2
令和5年		52				11	5	1	3		1	30	1

## ドクターヘリ離着陸場

学校(13ヶ所)

(令和6年4月1日現在)

指定場所	所在地	指定年月日	指定場所	所在地	指定年月日
八木原小学校	四街道市千代田5-4	H14.1.7	旭中学校	四街道市南波佐間267	H14.1.7
千代田中学校	四街道市千代田5-27	〃	四和小学校	四街道市和良比228	〃
南小学校	四街道市物井1536	〃	四街道西中学校	四街道市大日23	〃
大日小学校	四街道市大日978	〃	四街道小学校	四街道市四街道1557	〃
四街道北中学校	四街道市栗山1055	〃	和良比小学校	四街道市美しが丘3-12	〃
中央小学校	四街道市鹿渡917	〃	吉岡小学校	四街道市鷹の台3-2	〃
山梨小学校	四街道市旭ヶ丘1-9-12	〃			

公園・その他(4ヶ所)

指定場所	所在地	指定年月日	指定場所	所在地	指定年月日
中央公園野球場	四街道市鹿渡無番地	H14.1.7	総合公園多目的運動場	四街道市和田161	H14.1.7
鷹の台公園芝生広場	四街道市鷹の台2-36	〃	鹿放ヶ丘グラウンド	四街道市鹿放ヶ丘284-1	H15.7.18

## ラピッドカー

緊急自動車として登録されたドクターカーに救急医が同乗し、北総ドクターヘリが出動できない時間帯（日没～夜間）に出動します。

特に、医師の救急現場への派遣が必要な重症傷病者や多数傷病者発生時及び広域災害等において、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターへホットラインを介して要請し、救急医が救急現場等において、迅速に救命医療を開始し、救急車に同乗して診療を継続しながら重症傷病者を医療機関へ搬送するための車両です。

平成22年6月7日より、日本医科大学千葉北総病院救命救急センターを基地病院として運行が開始されました。

## ラピッドカー出動状況

事故種別 年	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和元年	22				4			6	1	1	10	
令和2年	17				6			2			9	
令和3年	16				4	1		1			10	
令和4年	26				7	2		1		2	14	
令和5年	20				7	1					11	1

## 応急手当の普及啓発活動

傷病者の命を救い、社会復帰に導くためには、「心停止の予防」、現場に居合わせた人による「早期認識と通報」、心肺蘇生やAEDなどの「一次救命処置」更には救急救命士や病院での処置「二次救命処置」の4つが連続して行われること、即ち「救命の連鎖」が必要とされています。

このため、当消防本部では、市民が応急手当に関する正しい知識と技術を習得するため救命講習を実施しています。

なお、令和3年度から応急手当講習に応急手当WEB講習（e-ラーニング）を導入し、事前にWEB講習を受講することにより講習時間の短縮が可能となります。

## 救命講習の種別

種別	受講対象者	主な普及項目	講習時間
普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)	中学生以上	成人に対する心肺蘇生法（Ⅰ・Ⅱ） 小児、乳児、新生児に対する心肺蘇生法（Ⅲ） 大出血時の止血法	Ⅰ：3時間※ Ⅱ：4時間※ Ⅲ：3時間※
上級救命講習	中学生以上	心肺蘇生法（小児、乳児、新生児を含む）、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法	8時間※
救命入門 コース	小学校4年生から 中学生まで	胸骨圧迫及びAEDの取り扱い	45分コース 90分コース

※応急手当WEB講習（e-ラーニング）を事前受講した場合、講習時間を1時間短縮する。

## 救命講習実施状況

種別 年	合計		普通救命講習 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)		上級救命講習		救命入門コース	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
令和元年	49	866	35	514	3	62	11	290
令和2年	24	516	15	163	1	18	8	335
令和3年	34 (5)	306 (36)	30 (5)	196 (36)			4	110
令和4年	28 (4)	318 (27)	21 (4)	148 (27)	2	16	5	154
令和5年	70 (12)	1,281 (99)	43 (12)	440 (99)	3	26	24	815

※（ ）内は応急手当WEB講習（e-ラーニング）を表す。

## 救助業務

救助業務とは、消防機関が行う救助に関するすべての業務をいい、火災をはじめ交通、水難、自然災害等の事故により生命又は身体に危険が及んでおり、かつ、自らその危険を排除することができない要救助者を救助する人命救助活動を行っています。

## 救助隊員の状況

(令和6年4月1日現在)

階級	年齢	合計	年齢					
			20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上
消防司令補		3					1	2
消防士長		7			1	4	2	
消防士		11		6	5			
合計		21		6	6	4	3	2

## 救助隊員の訓練実施状況

(令和5年中)

訓練内容	実施延回数	実施延人員	一回当たり参加人員	実施延時間
体力錬成訓練	30	500	16.67	16時間49分
ロープ基本応用訓練	64	1,089	17.02	213時間14分
検索・救助訓練				
救助器具取扱訓練	17	70	4.12	47時間25分
救助事象想定訓練	69	319	4.62	215時間23分
その他の訓練				
合計	180	1,978	10.99	492時間51分

## 救助出動件数

年	事故種別 合計	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械事故	建物等 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他
		建物	建物 以外								
令和元年	60			14		7		32			7
令和2年	47	2		9				32			4
令和3年	60	2		9		1		39			9
令和4年	59	1		10				35			13
令和5年	71	1		10	1		1	49			9

## 要救助者の状況

(令和5年中)

署所	年齢 性別	合計		20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
消防署		18	13	2	5		1			4	1		2	12	4
千代田分署		2	1					1						1	1
旭分署		3	2	1		2					1				1
合計		39		8		3		1		6		2		19	

## 指輪切断件数

年	年齢 性別	合計	男女別計		20歳未満		20歳以上 30歳未満		30歳以上 40歳未満		40歳以上 50歳未満		50歳以上 60歳未満		60歳以上	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和元年		30	1	29		2		3		4	1	7		6		7
令和2年		19	4	15	1			1		3		2	1	2	2	7
令和3年		20	4	16		1	1			3		1	1	4	2	7
令和4年		23	4	19			1	2		2	1	4		2	2	9
令和5年		17	4	13		1					2	1	1	3	1	8

# 救助資機材保有状況

(令和6年4月1日現在)

分類	品名	数量
一般用救助器具	かぎ付きはしご	4
	三連はしご	4
	ワイヤーはしご	1
	空気式救助マット	1
	救命索発射銃	1
	サーバイバースリング	1
	救助用縛帯	13
	ベストスリング	1
	平担架	1
重量物排除器具	可搬ウインチ	3
	マンホール救助器具	1
	マット型空気ジャッキ	6
	大型油圧スプレッダー	1
	電動マルチスプレッダー	2
	プランジャーラム	1
	ハンドポンプ	1
	エンジンポンプ	1
	救助用支柱器具	2
切断用器具	油圧ホース	2
	油圧切断機	1
	エンジンカッター	4
	酸素溶断器	1
	チェーンソー	5
	鉄線カッター	8
	空気鋸	2
	大型油圧切断機	1
	空気切断機	1
破壊用器具	空気工具	1
	万能斧	6
	ハンマー	5
	携帯用コンクリート破壊器具	1
	削岩機	1
	ハリガンツール	1
	ハンマードリル	2
測定用器具	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	3
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	3
	化学剤検知器	1
	検電器	1
高度救助用器具	熱画像直視装置	2
検索用器具	夜間用暗視装置	1
呼吸保護用器具	簡易画像探索器	1
	空気呼吸器	26
	酸素呼吸器	4
	防塵マスク	26
隊員保護用器具	送排風機	1
	帯電手袋	12
	帯電衣	6
	帯電ズボン	6
	帯電長靴	6

分類	品名	数量
隊員保護用器具	携帯警報機	12
	防毒マスク	13
	活線警報機	11
	放射線防護服	6
	タイケム等	28
	陽圧式化学防護服	8
	耐熱服	2
	化学防護長靴	18
	化学手袋	26
除染用器具	除染シャワー	2
	除染剤散布機	1
	除染テント	2
	密閉容器	3
	水中ポンプ	4
	水難救助用器具	救命胴衣
救命浮環		2
救命ボート		1
水中探索棒(すばり付き)		1
ウェダー		4
レスキューチューブ		1
ドライスーツ		4
ブーツ		4
水難救助用ヘルメット		4
山岳救助用器具	バスケット型担架	4
	ショートスケッド	1
	ロングスケッド	2
	ハーネスボード	1
その他の救助用器具	投光器	6
	携帯投光器	15
	携帯拡声器	8
	携帯無線機	6
	応急処置用セット	4
	車両移動器具	1
	緩降機	2
	発電機	6
	加圧排煙機	2
	携帯用救助工具	4
	手工具	各種
	救助鈇	1
	エアバック保護カバー	4
救助活動用安定具	各種	

# ロープレスキュー資器材保有状況

(令和6年4月1日現在)

名称		規格	数量	
<b>【ロープ &amp; アクセサリーズ】</b>				
スタティックロープ(100m)		「Teufelberger」 KMIII (φ12.5mm)	5	
スタティックロープ(50m)		「Teufelberger」 KMIII (φ12.5mm)	6	
スタティックロープ(100m)		「Teufelberger」 KMIII (φ11mm)	3	
スタティックロープ(50m)		「Teufelberger」 KMIII (φ11mm)	2	
スタティックロープ(50m)		「CMC」 レスキューロープバック#5	6	
スタティックロープ(25m)		「CMC」 レスキューロープバック#6	7	
ブルージックコード (ループ170cm) (ループ145cm)		「CMC」 緑 (φ8mm)	20	
		「CMC」 赤 (φ8mm)	37	
ロープバッグ 青		「CMC」 レスキューロープバック#4	5	
タックルバッグ 赤 黄		「PETZL」 トランスポート C02	3	
		「PETZL」 ポルターージュ S32	2	
ローププロテクター (アルミ)		「PETZL」 セットキャタピラー・エッジプロテクター	3	
ローププロテクター (樹脂)		「CMC」 ウルトラプロ4エッジプロテクター	1	
		「CMC」 ウルトラプロ2エッジプロテクター	1	
ローププロテクター (布)		「CMC」 エッジパッド・エッジガード	3	
トラックコーチ		「CMC」 レスキュートラックコーチ	3	
ウェビングテープ (3.6m・4.5m・6.0m)		「CMC」 1インチチューブラーウェビング	11	
ロードリリースストラップ		「CMC」 プロシリーズロードリリースストラップ	4	
オープンスリング (24・36・60インチ)		「CMC」 レスキューユーティリティーループ	14	
アンカーストラップ		「CMC」 プロシリーズアンカーストラップ	4	
アンカーストラップ		「PETZL」 コネクションパリオ 200~400cm	2	
アンカーストラップ		「Xmonster」 Rhino MAX 120cm	1	
アンカーストラップ		「Xmonster」 Rhino MAX 150cm	1	
ロープアクセスハーネス		「PETZL」 アストロボッド ファスト EN Ver	7	
フォールアレストハーネス		「PETZL」 アバオボット	9	
ロープクランプ		「PETZL」 アセッション	4	
フットループ (4段式エトリエ)		「PETZL」 ルーピング	3	
クイックドロ用スリング		「PETZL」 エクスプレス (17cm)	3	
スローバッグ		「PETZL」 ジェット (250g)	1	
スローライン用収納バッグ		「PETZL」 イクリプス	1	
パーセルループセット		「STERLING」 パーセルループセット	1	
ショルターストラップ付レスキュートラリアングル		「PETZL」 ピタゴール	2	
<b>【ハードギア】</b>				
レスキュー用DCD		「CMC」 CLUTCH 10.5mm~11mm	2	
セルフブレイキ下降器		「PETZL」 ID'S	3	
エッジキット		「CMC」 アズテック プロシリーズ	2	
モバイルフォールアレスター		「PETZL」 アサップロック	4	
エネルギーアブソーバー		「PETZL」 アサップソーバーアクセス	3	
フォールアレスト用ランヤード		「PETZL」 アブソビカ-I パリオ	17	
シングルプーリー		「CMC」 プロシリーズプーリー	12	
ダブルプーリー		「CMC」 プロシリーズプーリー	4	
ノットパスプーリー		「PETZL」 クートネー	4	
スイベルプーリー		「CMC」 レスキュー S/S スイベルプーリー	1	
スイベルダブルプーリー		「CMC」 スイベルダブルプーリー	5	
エイト環		「CMC」 レスキュー エイト	6	
ブレイキバールック		「CMC」 レスキューラック	3	
スイベル		「CMC」 プロシリーズスイベル	2	
アンカープレート		「CMC」 アンカープレート	4	
リギングプレート		「PETZL」 ポーM	2	
リギングプレート		「PETZL」 ポーL	2	
リギングプレート		「KONG」 ラリー	1	
O リング		「PETZL」 アルミニウム O リング	2	
O リング		「PETZL」 リングオープン	16	
コネクタ	(アルミD型) シルバー	「CMC」	レスキューアルミ ロッキングDカラビナ	57
	(アルミD型) レッド	「CMC」	レスキューアルミ ロッキングDカラビナ	4
	(スチールD型) シルバー	「PETZL」	スチール	4
	(スチールD型) ゴールド	「CMC」	レスキュースチール ロッキングDカラビナ	5
	(アルミD型) シルバー	「PETZL」	AM'D トライアクトロック	9
	(アルミD型) シルバー	「PETZL」	OK トライアクトロック	11
	(スチール製オーバル型) クイックリンク	「PETZL」	ゴー	2
	ワークポジショニング用コネクタ	「PETZL」	イーゾフックオープン	16



## 空気(酸素)呼吸器及び空気(酸素)ボンベ保有状況

### ○空気呼吸器

規格 M30プレッシャーデマンド型  
 能力 陽圧切替 自動  
 最高使用圧力 30Mpa  
 警報器 ホイッスル式残量3.0Mpa  
 重量 4.1kg

### ○酸素呼吸器

規格 ドレーゲルPSS BG4 plus  
 能力 使用時間 公称4時間  
 酸素供給方式 定量/デマンド併用型、手動バイパス付  
 重量 約15kg

(令和6年4月1日現在)

品目	配置先	合計	消防署	千代田分署	旭分署
空気呼吸器		61	26	21	14
空気ボンベ		130	53	37	40
酸素呼吸器		4	4		
酸素ボンベ		8	8		

## 消防ホース保有状況

(令和6年4月1日現在)

呼称	配置先	合計	消防署	千代田分署	旭分署
65mm		316	128	96	92
40mm		136	40	52	44
合計		452	168	148	136

## その他出動件数

年/件数・人員		分類	合	危	危	緊	風	救	P	警	他	そ
			計	険	険	急	水	急	A	戒	都市	の
				物	排	確	害	支	連		応	他
					除	認		援	携	戒	援 <sup>(注)</sup>	
令和元年	件数		623		34	68	75	87	301	2	56	
	人員		2,028		120	222	250	295	967	6	168	
令和2年	件数		527		23	69	1	95	315		24	
	人員		1,726		78	231	4	314	1,027		72	
令和3年	件数		662		22	74	3	80	440	1	40	2
	人員		2,218		75	239	10	272	1,493	3	120	6
令和4年	件数		913		38	68	6	103	577		119	2
	人員		3,044		132	217	20	348	1,963		357	7
令和5年	件数		961	1	32	67	17	101	603		136	4
	人員		3,134	3	100	218	68	343	1,978		408	16

※(注)「他都市応援」の件数は、「救急件数」等の件数に含まれており、重複計上となっている。

## 各種業務出動状況

年/回数・人員		分類	合	演	広	警	火	特	捜	予	誤
			計	習	報	防	災	別	索	防	報
				訓	指	調	調	警		査	
				練	導	査	査	戒		察	
令和元年	回数		1,220	489	219	155	34	67		230	26
	人員		5,150	2,254	908	538	137	216		662	435
令和2年	回数		695	303	69	207	29	56		19	12
	人員		3,017	1,473	278	733	109	201		76	147
令和3年	回数		1,571	478	624	177	40	72		165	15
	人員		5,635	2,011	2,034	597	163	242		397	191
令和4年	回数		991	419	186	157	40	37		128	24
	人員		4,160	1,981	757	516	143	120		328	315
令和5年	回数		1,266	597	269	167	41	37		135	20
	人員		5,108	2,631	1,001	579	157	121		351	268

※火災出動・救急出動・救助出動・その他出動を除く。

# 消防車両配置状況

(令和6年4月1日現在)

区分 所属	車両種別	車名	排気量 (CC)	燃料の 種類	級別等	乗車 定員	登録年月日
消防本部	司令車	トヨタ	2,360	ガソリン	—	7	H24. 2. 20
	広報車	日産	1,990	ガソリン	—	7	H19. 10. 19
	広報車	トヨタ	1,320	ガソリン	—	5	H26. 1. 15
	査察車	トヨタ	2,690	ガソリン	—	7	H19. 2. 28
消防署	指揮統制車	日産	4,470	ガソリン	—	8	H18. 12. 22
	化学消防ポンプ自動車	日野	7,960	軽油	Ⅱ型/A2	5	H16. 3. 26
	水槽付消防ポンプ自動車	日野	6,400	軽油	I-B/A2	6	H27. 3. 25
	救助工作車	日野	5,120	軽油	Ⅱ型	6	R 3. 12. 27
	屈折はしご付消防ポンプ自動車	日野	7,680	軽油	20m級	5	H21. 2. 27
	高規格救急自動車	日産	2,480	ガソリン	高規格	7	R 5. 3. 6
	資機材搬送車	マツダ	1,990	ガソリン	—	3	H15. 10. 29
千代田分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	6,400	軽油	I-B/A2	6	H24. 3. 30
	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	8,220	軽油	I型/B2	3	H15. 3. 26
	高規格救急自動車	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H28. 3. 18
	高規格救急自動車	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H25. 1. 25
	広報車	トヨタ	1,990	ガソリン	—	9	H26. 1. 23
	水槽付消防ポンプ自動車(非常用)	日野	7,960	軽油	I-B/A2	6	H12. 2. 16
旭分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	6,400	軽油	I-B/A2	5	H18. 3. 28
	消防ポンプ自動車	いすゞ	4,770	軽油	CD-I/A2	5	H18. 11. 6
	後方支援車	いすゞ	7,790	軽油	I型仕様	9	H18. 3. 17
	高規格救急自動車	日産	2,480	ガソリン	高規格	7	R 3. 9. 17
	高規格救急自動車(非常用)	トヨタ	2,690	ガソリン	高規格	7	H23. 2. 8
	広報車	ダイハツ	650	ガソリン	—	4	H28. 10. 19

※消防団車両を除く。

# 消防水利

(各年4月1日現在)

年	区分	合計	消 火 栓				
			小 計	公 設		私 設	
				150mm以上	150mm未満	150mm以上	150mm未満
令和 2年		1,261	860	392	468		
令和 3年		1,299	893	427	466		
令和 4年		1,302	897	428	469		
令和 5年		1,307	898	429	469		
令和 6年		1,310	899	429	470		

年	区分	小 計	防 火 水 槽							
			区分 計	公 設			私 設			
				100m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 未満	区分 計	100m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 未満
令和 2年		386	310	12	242	56	76	2	69	5
令和 3年		388	310	12	242	56	78	2	71	5
令和 4年		390	314	12	247	55	76	2	70	4
令和 5年		394	318	12	251	55	76	2	70	4
令和 6年		396	319	12	252	55	77	2	71	4

年	区分	小計	そ の 他			
			河川・溝等	プール	濠・池等	その他
			令和 2年		15	
令和 3年		15		13		2
令和 4年		15		13		2
令和 5年		15		13		2
令和 6年		15		13		2

# 相互応援協定

(令和6年4月1日現在)

協定名	協定年月日	協定内容(協定機関)	備考
千葉県広域消防相互応援協定	昭和40年 7月19日	千葉県下の全市町村及び一部事務組合が、大規模災害及び産業災害等の予防、鎮圧に万全を期し、併せて民心の安定を図るため相互応援体制を確立し、不測の事態に対処する協定 (千葉県下全市町村19市65町10村)	
	改正昭和60年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等による改正	
	改正平成 4年 4月 1日	団体名の変更及び一部事務組合の結成等並びにヘリコプターによる航空特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成15年 4月 1日	応援の種類として、火災調査等特別応援が新たに加わったことによる改正	
	改正平成18年 8月22日	消防組織法の一部を改正する法律が施行されたことによる改正	
東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定	昭和54年10月 1日	協定区域内において災害が発生した場合に、消防隊、救急隊その他人員資機材を出動させるための協定 [千葉市、市川市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、浦安町、四街道町、酒々井町、富里村]	消防組織法第39条に基づく相互応援協定
	改正昭和56年 4月 1日	四街道町及び浦安町の市制施行に伴う改正	
	改正昭和60年 4月 1日	富里村の町制施行、及び佐原市外5町(組)の加入に伴う改正	
	改正昭和61年 4月24日	大栄インターチェンジから佐原香取インターチェンジまでの供用開始、及びこれに係る佐原市外5町(組)の出場区域の見直しに伴う改正	
	改正昭和62年11月20日	佐原香取インターチェンジから潮来インターチェンジまでの供用開始、及び潮来町並びに鹿行地方広域市町村圏(組)の加入に伴う改正	
	改正平成 5年 4月27日	佐倉市が消防団の所管替えにより新規加入。更に、佐倉市外2町消防組合が、佐倉市八街市酒々井町消防組合に名称変更したことに伴う改正	
	改正平成18年 8月24日	佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外5町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	
	改正平成25年 4月10日	酒々井インターチェンジ開通に係る応援出動区域の見直しに伴う改正	
成田国際空港消防相互応援協定	改正平成17年 5月18日	成田空港及びその周辺における航空機に関する災害又はその発生のある虞のある事態に際し、相互に緊密な協力のもとに消火救難活動を実施し、被害の防止又は軽減を図るための協定 [成田市、佐原市外五町(組)、佐倉市八街市酒々井町(組)、山武郡市広域行政(組)、八日市場市外三町(組)、印西地区(組)、四街道市、富里市、栄町、成田国際空港(株)] 当市加入前の経過 昭和53年 3月18日 改正 平成 4年 4月 1日 改正 平成14年 4月 1日 改正 平成16年 4月 1日	
	改正平成18年 7月12日	八日市場市と野栄町が新設合併し匝瑳市、横芝町と光町が新設合併し横芝光町となり、八日市場市外三町(組)が匝瑳市横芝光町(組)に名称変更 佐原市、山田町、栗源町、小見川町が新設合併し香取市となり、佐原市外5町(組)が香取広域市町村圏(組)に名称変更したことに伴う改正	

協 定 名	協定年月日	協定内容（協定機関）	備 考
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定	平成21年 3月31日	鉄道災害が発生し、又は発生する恐れのある場合、千葉県内の消防本部（局）と鉄道軌道事業者との相互連携により、安全かつ迅速な消防活動と公共交通機関としての列車運行の早期復旧を図るための協定 [千葉県、県下31消防本部、鉄道軌道事業者15社]	
	改正平成23年 4月 1日	県の組織改編に伴う改正	
災害時等における消防用水の供給支援に関する協定	平成31年 3月20日	3市域における大規模火災発生時において、民間事業者のコンクリートミキサー車を活用した消防用水の搬送体制を確保し、消防用水の補給及び消防資機材の確保について、3市が相互に協力し、迅速な消防体制を確立するための協定 [千葉市、市原市、四街道市、千葉中央生コンクリート共同組合（組合員11事業所17工場）]	

# 指 令 編

# ちば消防共同指令センターの概要

ちば消防共同指令センターは、千葉県北東部・南部の20消防本部の119番通報の受信や、消防車や救急車の無線管制等の通信指令業務の運用を共同で行っています。

共同運用を行うことで、業務の効率化が図られるとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制の充実強化が図られています。





# 消防通信指令施設の現況

(令和6年4月1日現在)

種 別	名 称	説 明	
ちば消防共同指令センター設備	情報共有システム	情報共有端末装置	4台(指令室、1署2分署)
		情報共有表示装置	1台(指令室)
		車両運用表示盤	3台(1署、2分署)
		車両運用表示装置	1台(指令室)
		119番ヘルプ機能用電話	2回線(指令室、署待機室)
		迂回119番受信用電話	2回線(指令室)
	指令装置関係	署所端末装置	4式(指令室、1署2分署)
		無線指令受付装置	4式(指令室、1署2分署)
		無停電電源装置	4式(指令室、1署2分署)
	駆け付け通報装置	駆け付け通報装置	3回線(1署、2分署)
		監視カメラ	3台(1署、2分署)
	指令情報装置	指令情報出力装置	4台(指令室、1署2分署)
		指令書プリンター	4台(指令室、1署2分署)
	無線設備	陸上移動局	消防署活動系無線機
消防団活動系無線機			46基(消防団本部12基、消防団34基)※デジタル350MHz帯
電話設備	一般加入電話	8回線(消防本部・署6回線、両分署各1回線)	
	携帯電話	13回線	
	衛星携帯電話	3回線	
	県防災行政無線専用電話	1回線	
市防災行政無線専用端末機		1回線	

(令和6年4月1日現在)

消防救急無線設備	区 分		呼称名称	局数
遠隔制御器 (消防本部)	活動波	消 防 波	えんせい よつかいどう しょうぼう	1
		救 急 波		
	主運用波	主 運 用 波 2		
	統制波	統 制 波 1 ~ 3		
近隣消防本部活動波				

(令和6年4月1日現在)

デジタル無線設備	車載型27基	携帯型34基	携帯型(可搬)1基	携帯型(卓上)1基	
消防本部	消防署	千代田分署	旭分署	消防団	
呼出名称 <small>車両名及び配置先</small>	呼出名称 <small>車両名及び配置先</small>	呼出名称 <small>車両名及び配置先</small>	呼出名称 <small>車両名及び配置先</small>	車 載 機	
四街道本部広報1 広 報 車	四街道指揮統1	四街道千代田水槽1 水 槽 車	四街道旭水槽1 水 槽 車	司 令 車	
四街道本部広報2 広 報 車	四街道指揮統2 指揮統制車	四街道千代田水槽2 水 槽 車 (非常用)	四街道旭ポンプ1 ポンプ車	司 令 車 (多機能車)	
四街道本部予防1 査 察 車	四街道指揮統3	四街道千代田救急1 高規格救急車	四街道旭救急1 高規格救急車	受 令 機	
四街道本部支援1 後方支援車	四街道水槽1 水 槽 車	四街道千代田救急2 高規格救急車	四街道旭救急2 高規格救急車	団 本 部 (女性消防団)	
四街道本部支援2	四街道救急1 高規格救急車	四街道千代田広報1 広 報 車	四街道旭広報1 広 報 車	第 1 分 団	
四街道本部601	四街道梯子1 屈折はしご車 (20M級)	四街道千代田給水1 給 水 車	四街道旭301  旭 分 署	第 3 分 団	
四街道本部602		千代田分署		第 4 分 団	
四街道本部603				四街道旭302	第 5 分 団
四街道本部604				四街道旭303	第 6 分 団
四街道本部605				四街道旭304	第 7 分 団
四街道本部606				第 8 分 団	
四街道本部607				第 9 分 団	
四街道本部608				第 10 分 団	
四街道本部609				第 12 分 団	
四街道本部610				第 14 分 団	
四街道本部611	第 15 分 団				
四街道本部612	第 16 分 団				
四街道本部701	四街道101 消 防 署			第 17 分 団	
四街道本部702 予 防 課	四街道102 四街道103 四街道104 四街道105 四街道106 四街道107 四街道108 四街道109			第 18 分 団	
四街道本部703					
四街道本部901					
四街道本部902 警 防 課					
四街道本部903					
	受 令 機 事 務 室	受 令 機 事 務 室	受 令 機 事 務 室		

# 覚知別受信状況

(令和5年中)

区 分			小 計
119	固 定	携 帯	7,179
	677	4,650	
加入	固 定 I P	携 帯	84
	72	12	
警察電話（警察電話によって覚知したもの）			160
駆付け通報（駆付けにより通報を受け覚知したもの）			58
事後聞知（鎮火後に覚知したもの）			
自己覚知（消防機関が覚知したもの）			6
その他（上記以外の方法により覚知したもの）			75
合 計			7,562

(資料：ちば消防共同指令センター)

# 問合せ

(令和5年中)

火災問合せ	救急問合せ	病院問合せ	その他問合せ	合 計
1	37	356	124	518

(資料：ちば消防共同指令センター)

# その他

(令和5年中)

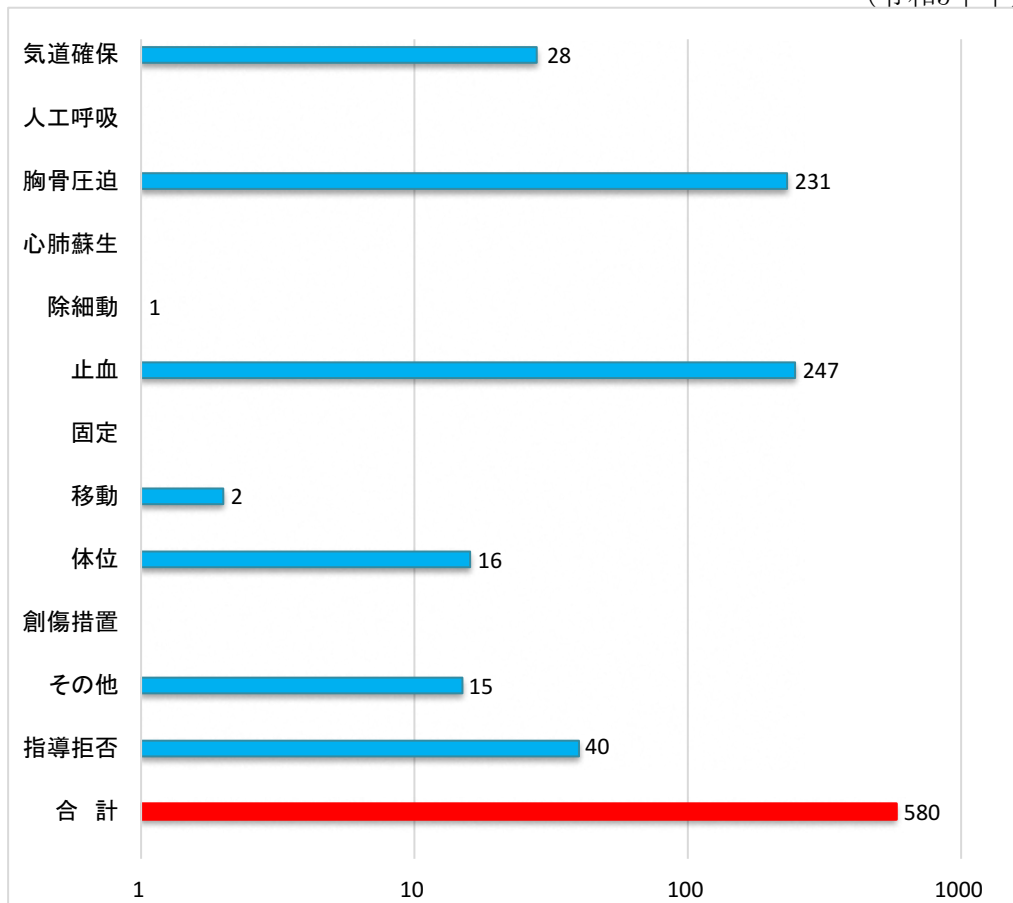
いたずら	その他	無 音	間違い	119試験	FAX	携帯転送	合 計
8	94	338	429	65		28	962

(資料：ちば消防共同指令センター)

# 口頭指導状況

(令和5年中)

気道確保	28
人工呼吸	
胸骨圧迫	231
心肺蘇生	
除細動	1
止血	247
固定	
移動	2
体位	16
創傷措置	
その他	15
指導拒否	40
合計	580



(資料：ちば消防共同指令センター)

# 四街道市消防本部の応受援状況

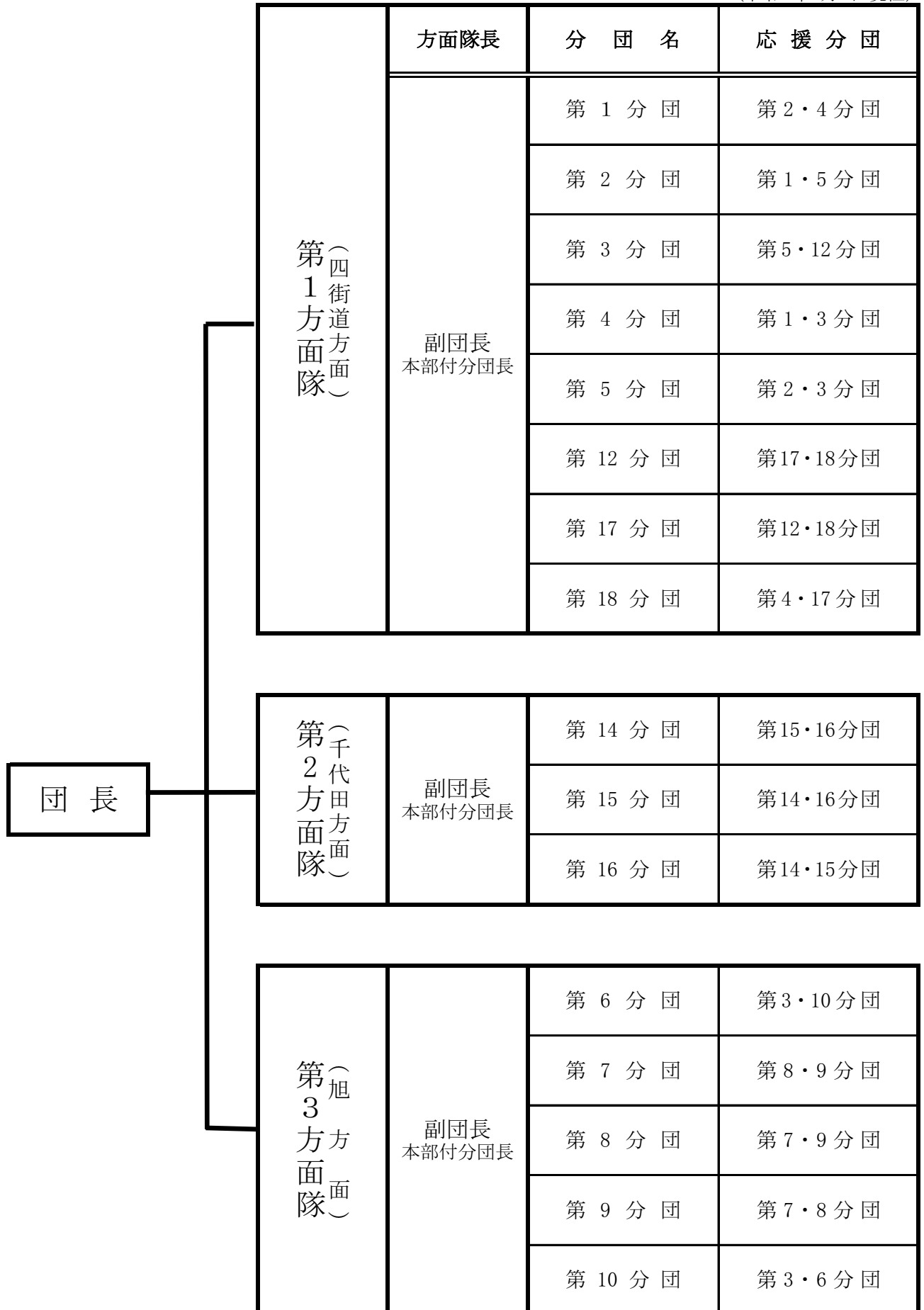
(令和5年中)

区分		月別	合計	月別											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉市 消防局	応援	救急隊	99	11	2	3	2	2	6	20	31	4	2	6	10
		消防隊													
	受援	救急隊	112	21	10	4	6	5	9	6	17	6	6	8	14
		消防隊													
佐倉市 八街市 酒々井 町消防 組合消 防本部	応援	救急隊	37	4	3	2	2			6	5	5	3	3	4
		消防隊													
	受援	救急隊	96	20	4	5	4	4	7	15	9	6	4	10	8
		消防隊													

# 消防団編

# 消防団各方面隊

(令和6年4月1日現在)



# 階級別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

階級 区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	定数
実員	224 (16)	1	2	19	15	17 (1)	74 (4)	96 (11)	300
機能別	12 (3)							12 (3)	

※( )内は女性消防団員を表す。

# 年齢階層・階級別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

階級	年齢	合計	20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上
団本部	団長	1								1
	副団長	2								2
	分団長	3								3
	部長	1 (1)			1 (1)					
	班長	5 (5)							1 (1)	4 (4)
	団員	11 (10)				1 (1)		2 (1)	2 (2)	6 (6)
分団	分団長	16				1	2	3	2	8
	副分団長	16			1		4	1	5	5
	部長	16				1	4	2	4	5
	班長	74			3	5	9	10	11	36
	団員	79		4	8	5	8	7	12	35
合計	224 (16)		4	13 (1)	13 (1)	27	25 (1)	37 (3)	105 (10)	

※( )内は女性消防団員を表す。

# 分団・在職年数別消防団員数

(令和6年4月1日現在)

分 団	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団本部	23 (16)	10 (7)	6 (6)		3 (3)	1		3
第1分団	8	1			1	2	2	2
第2分団	21	7	3	4	5	1	1	
第3分団	15	1	6	2	2	2	2	
第4分団	16	2	6	2	4	2		
第5分団	17	1	3	3	1	4	1	4
第6分団	11	1	3	3		1	3	
第7分団	12		7	1	1		2	1
第8分団	10	1		1	1	2	1	4
第9分団	5		1			4		
第10分団	13	2	3	4		1	3	
第12分団	14	4	6		1	1	1	1
第14分団	12	1	1	1	3	3	3	
第15分団	5		1	1	1		2	
第16分団	12	3	1	1	1	1	3	2
第17分団	15	6	6	3				
第18分団	15	2	7	1	1	1	2	1
合計	224 (16)	42 (7)	60 (6)	27	25 (3)	26	26	18

※( )内は、女性消防団員を表す。

# 職業別消防団員数

(各年度4月1日現在)

職業 年度	合計	農 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ 水 道 業 ・ ガ ス	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 飲 食 店 小 売 業	金 融 ・ 保 險 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公務員等			
											国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	特 殊 法 人 等	そ の 他
令和 2年度	253	10	30	30	11	22	27	5	1	53		29	1	34
令和 3年度	228	9	28	25	11	21	24	5		48		19	8	30
令和 4年度	225	10	30	24	12	19	20	4		46		19	7	34
令和 5年度	228	10	30	21	12	18	21	7		47		20	7	35
令和 6年度	224	11	30	22	12	18	20	7		49		21	7	27

# 消防団管轄区域

(令和6年4月1日現在)

分 団	管 轄 区 域	実 員	階 級 別						
			団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
団 本 部	四街道市全域	23	1	2	3		1	5	11
第 1 分 団	下志津新田、さつきヶ丘	8			1	1	1	5	
第 2 分 団	四街道の一部、四街道1丁目の一部 四街道2丁目の一部、四街道3丁目	21			1	1	1	5	13
第 3 分 団	鹿渡、和良比の一部、みのり町 さちが丘1丁目、中央	15			1	1	1	5	7
第 4 分 団	四街道の一部、四街道1丁目の一部	16			1	1	1	5	8
第 5 分 団	和良比の一部、めいわ3丁目、4丁目 美しが丘1丁目～3丁目、四街道2丁目の一部	17			1	1	1	5	9
第 6 分 団	小名木、めいわ1丁目、2丁目、5丁目	11			1	1	1	5	3
第 7 分 団	吉岡、鷹の台1丁目～4丁目	12			1	1	1	5	4
第 8 分 団	南波佐間、和田、上野	10			1	1	1	5	2
第 9 分 団	成山、中台、中野、たかおの杜	5			1	1	1	2	
第 10 分 団	山梨、旭ヶ丘1丁目～5丁目 みそら1丁目～4丁目	13			1	1	1	5	5
第 12 分 団	栗山、つくし座1丁目～3丁目 さちが丘2丁目、長岡	14			1	1	1	5	6
第 14 分 団	物井、千代田一丁目、二丁目、四丁目、五丁目 もねの里1丁目～6丁目	12			1	1	1	5	4
第 15 分 団	亀崎、千代田三丁目	5			1	1	1	2	
第 16 分 団	内黒田、萱橋、池花1丁目、2丁目	12			1	1	1	5	4
第 17 分 団	大日の一部、鹿放ヶ丘	15			1	1	1	5	7
第 18 分 団	大日の一部	15			1	1	1	5	7
合 計		224	1	2	19	16	17	79	90



# 消防団員年額報酬

(令和6年4月1日現在)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額	145,000	107,000	75,000	54,000	43,000	38,000	36,500

※機能別団員には、年額報酬を支給しない。

# 消防団員出動報酬

(令和6年4月1日現在)

区分	水火災・その他の災害		警戒・演習訓練等	
単位・金額	1日	4時間以上 8,000円 4時間未満 4,000円	1日	2,000円

※消防団員費用弁償(出動に係る交通費)は実費支給

# 消防団出動状況

(各年度4月1日現在)

種別	合計		火災		風水害		演習訓練		広報指導		警防調査		特別警戒		捜索		その他	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
令和3年度	73	2,760	4	39			12	139	18	416	28	1,601	5	408			6	157
令和4年度	155	3,584	7	67			90	787	21	527	26	1,652	5	376			6	175
令和5年度	156	4,084	4	13	1	65	76	1,255	38	527	26	1,718	5	418			6	88

# 消防団員表彰状況

(令和5年度)

区分	階級	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
消防庁長官功労章									
消防庁長官永年勤続功労章		1						1	
千葉県知事文化功労章									
千葉県知事特別功労章									
千葉県知事永年勤続功労章		1							1
千葉県知事功労章		2						1	1
千葉県知事精勤章		4				1		2	1
千葉県防災危機管理部長章		6			4		1	1	
日本消防協会長功績章		1						1	
日本消防協会長精績章		1							1
日本消防協会長勤続章		3							3
千葉県消防協会長特別功労章									
千葉県消防協会長永年勤続功労章		3			2			1	
千葉県消防協会長功績章		1							1
千葉県消防協会長功労章		1			1				
千葉県消防協会長精勤章		4					1	1	2
印旛支部長功労章		3					1	1	1
印旛支部長勤続章		3				1		1	1
印旛支部長精勤章		8			1			5	2
四街道市長章		13			1	1	2	6	3
四街道市消防団長章		16				1	1	3	11
合計		71			9	4	6	24	28

# 消防団詰所の状況

(令和6年4月1日現在)

区分	所在地	構造	建築延面積	敷地面積	建築年月
分団					
団本部(女性消防団員)	四街道市 鹿渡698-36 (旧11分団詰所) (市有地)	重量鉄骨平屋建	59.62 m <sup>2</sup>	247.41 m <sup>2</sup>	H22年 1月
第1分団	下志津新田2524-52 (借地)	鉄骨2階建	48.60 m <sup>2</sup>	65.90 m <sup>2</sup>	S 48年12月
第2分団	四街道3-8-1 (市有地)	鉄骨2階建	85.68 m <sup>2</sup>	114.28 m <sup>2</sup>	R 2年 4月
第3分団	和良比256-4 (借地)	鉄骨2階建	49.68 m <sup>2</sup>	432.56 m <sup>2</sup>	S 58年 3月
第4分団	四街道1522-107 (市有地)	鉄骨2階建	49.68 m <sup>2</sup>	147.74 m <sup>2</sup>	S 55年11月
第5分団	和良比782-1 (借地)	鉄骨2階建	49.68 m <sup>2</sup>	62.44 m <sup>2</sup>	S 58年12月
第6分団	小名木228・229 (市有地・一部借地)	鉄骨平屋建	47.61 m <sup>2</sup>	133.92 m <sup>2</sup>	S 51年10月
第7分団	吉岡882-1 (借地)	木造平屋建	49.27 m <sup>2</sup>	108.56 m <sup>2</sup>	S 52年11月
第8分団	上野55 (借地)	鉄骨2階建	49.68 m <sup>2</sup>	82.00 m <sup>2</sup>	S 57年12月
第9分団	中台533 (借地)	木造平屋建	49.27 m <sup>2</sup>	149.14 m <sup>2</sup>	S 56年10月
第10分団	山梨835-3・886 (借地)	鉄骨2階建	49.68 m <sup>2</sup>	164.36 m <sup>2</sup>	S 55年11月
第12分団	栗山872-1 (借地)	木造平屋建	49.27 m <sup>2</sup>	147.81 m <sup>2</sup>	S 52年10月
第14分団	物井787-2 (借地)	木造平屋建	49.27 m <sup>2</sup>	155.00 m <sup>2</sup>	S 52年12月
第15分団	亀崎245-1 (借地)	鉄骨平屋建	59.62 m <sup>2</sup>	283.09 m <sup>2</sup>	H25年12月
第16分団	内黒田170-1 (借地)	木造平屋建	49.69 m <sup>2</sup>	132.21 m <sup>2</sup>	S 59年10月
第17分団	大日1109 (借地)	鉄骨平屋建	47.61 m <sup>2</sup>	142.83 m <sup>2</sup>	S 50年 9月
第18分団	大日336-27 (市有地)	木造平屋建	49.27 m <sup>2</sup>	101.70 m <sup>2</sup>	S 53年12月

# 消防団車両配置状況

(令和6年4月1日現在)

区分	車両種別	車名	排気量(cc)	燃料の種類	級別	乗車定員	登録年月日
分団							
団本部	司令車	日産	2,480	ガソリン	—	10	R 5. 1.19
団本部	司令車(多機能車)	日産	2,480	軽油	B2	6	H29.11.13
団本部(女性消防団員)	小型動力ポンプ付積載車	日産	1,990	ガソリン	B3	8	H 9. 8.26
第1分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H19.10.18
第2分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	R 5. 3.10
第3分団	消防ポンプ自動車	三菱	5,240	軽油	A2	8	H15. 3.18
第4分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	H21.12.16
第5分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H21. 9.17
第6分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H20.10.24
第7分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H21. 9.17
第8分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H20.10.24
第9分団	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ	1,990	ガソリン	B2	6	R 6. 3.15
第10分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	H17.12.20
第12分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H21.10. 1
第14分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	H20.12.17
第15分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	H25. 3.13
第16分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H21.10. 1
第17分団	小型動力ポンプ付積載車	三菱	2,970	軽油	B2	6	H19.10.18
第18分団	消防ポンプ自動車	日野	4,000	軽油	A2	6	H19. 2.16

# 出前講座編

# 生涯学習まちづくり出前講座(消防関係 3講座)

◇対象・・・・・・・・市内在住・在勤・在学の10人以上の団体

◇開催日・・・・・・・・通年

◇時間・・・・・・・・午前9時～午後9時（祝日・年末年始などは除く）

◇費用・・・・・・・・無料

講座 件数等 年度	合 計		見てもよう 消防署		聴いてもよう 消防署		やってもよう 消防署	
	実 施 件 数	受 講 人 数 (人)	実 施 件 数	受 講 人 数 (人)	実 施 件 数	受 講 人 数 (人)	実 施 件 数	受 講 人 数 (人)
令和元年度	32	1,139	5	358	2	61	25	720
令和2年度	6	330	3	177	1	128	2	25
令和3年度	22	772	3	211			19	561
令和4年度	34	1,259	5	273	2	45	27	941
令和5年度	47	1,748	10	444			37	1,304

# 職場体験学習

(目的)

市内の小・中・高等学校などを対象とし、職場体験学習を受け入れています。  
 消防業務の概要等の学習や、消防・救急・救助活動などの訓練を通して、児童生徒の消防への理解だけでなく、経験から得られたものを指針として将来の道を選ぶ参考とすることを目的としています。

年度 \ 対象	合計	小学生(人)	中学生(人)	高校生(人)	大学生(人)	その他(人)
令和元年度	9		9			
令和2年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和3年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和4年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験学習は中止					
令和5年度	2				2	

# 教育実習等受入状況

(目的)

将来、医師、救急救命士を目指す大学生などを対象に現場教育の受入をしています。  
 大学生などが救急車に同乗し、実際に現場活動を体験することや、消防職員として必要な消防、救助活動訓練など消防機関で行う基本的かつ代表的な訓練を体験することで、将来の職業選択の参考として消防への理解を深めてもらうことを目的としています。

年度 \ 対象	合計	性別	年齢						
			18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳以上	
令和元年度	4	男性	4			1	3		
		女性							
令和2年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、教育実習等の受入は中止								
令和3年度	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、教育実習等の受入は中止								
令和4年度	5	男性	5			2	3		
		女性							
令和5年度	35	男性	27	1	9	15	2		
		女性	8	1	3	1	2		1



## 消防年報 2023年度版

発行日 令和6年6月

四街道市消防本部

〒284-0003

千葉県四街道市鹿渡934番地26

TEL 043-422-0119(代表)

FAX 043-423-7650

URL <http://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shisei/shobo/index.html>